

77
176

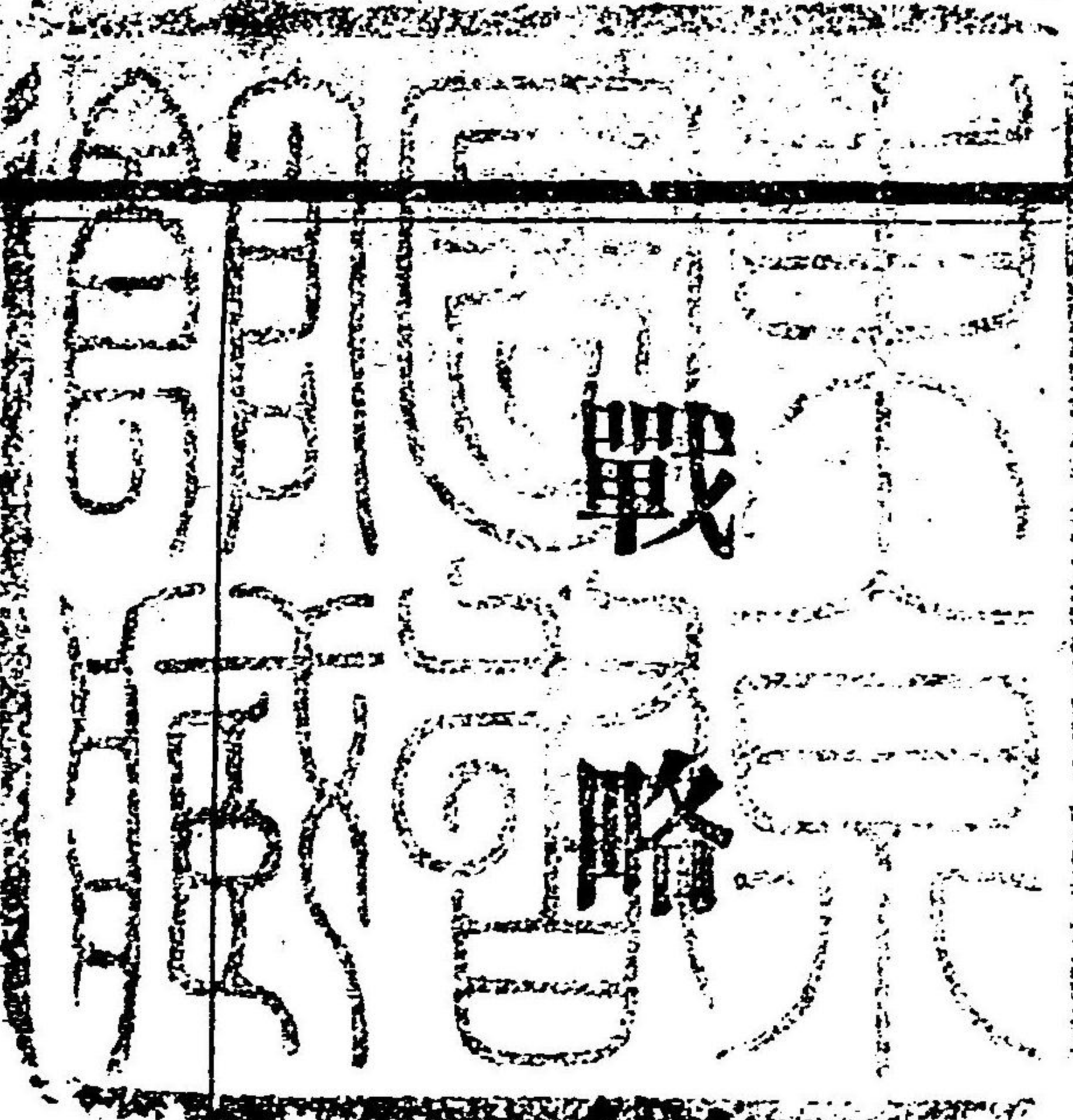
戰略術問答
第七卷

陸軍戸山學校用本



戰術問答 第七卷

明治二十七年三月



戰略術問答第七卷

獨乙陸軍砲兵大佐 ホン、ギチッキー 著

日本陸軍 戸山學校 譯



左ノ如ク編成スル西軍枝隊ノ前哨法ヲ論ベントス

步兵第一連

輕兵第三連

輕兵第二連

野戰砲兵第一連

師團架橋總隊

此枝隊ハ「ウステルハウゼン」ニ到着シ東方ニ在ル敵ニ對

シテ警戒セントス

是カ爲メ次ニ記スル四個ノ場合ヲ想像ス

第一、枝隊ハ翌日東方ニ前進セント欲スルルル

第二、枝隊ハ翌日西方ニ退却セント欲スルルル

第三、枝隊ハ翌日停止シテ敵ノ攻撃ヲ待チ而シテ其

ノ攻撃ヲ撃退スルヤ直チニ攻勢ニ轉セントス

ルル

第四、枝隊ハ翌日「ウステルハウゼン」ニ於テ暫時間敵

ヲ扼止シ後チ西方ニ退却セント欲スルルル

此四個ノ場合如何ニ從ツテ警戒勤務ニ變更ヲ生スルハ
固ヨリ論ヲ俟タサルナリ

第一、枝隊ハ翌日東方ニ前進セント欲スルルル

戦況A第一

西軍枝隊自國ニ於テ「ハウステルハウゼン」ノ西方大約三
獨里ニ在ル「ハーフェルベルヒ」ノ北方ニ在ル諸村落ニ宿
營シ、六月三十日ノ午後「ルツピン」郡ノ郡長ガ「アルト、ルツ
ピン」ヨリ發シタル電報ニ接シタリ、曰ク各兵種ヨリ編成
シタル敵ノ枝隊ハ東方ヨリ來リ正午頃「ヘルツベルヒ」ヲ
占領シタリ、又晩頃ニ至リ「ノイ、ルツピン」電信局ヨリ「アル
ト、ルツピン」トノ電信切斷セラレタリト報告シ、其後「ダン
ムクルーグ」ノ停車場ヨリ「ウエルドベルヒ」ヲ經テ電報到
着シ「ロク、ウストラウ」ニ於ケル電話機不通トナレリト
西軍枝隊ハ此ノ狀況及豫メ受ケタル教示ニ基キ七月一

日東方ニ行進シテ敵ヲ搜索シ且之ヲ撃退セシメテ企圖セリ

獨立騎兵、A騎兵大尉

輕騎兵第一中隊及第二中隊ノ半中隊

前衛、B大佐

歩兵第二十聯隊第一第二大隊

輕騎兵第二中隊ノ半中隊(本隊ニ附屬シタル報告

騎兵ヲ缺ク)

砲兵第一中隊

工兵一中隊

本隊

歩兵第二十聯隊第三大隊

輕歩兵第三十五聯隊

砲兵第二及第三中隊

工兵中隊(但シ一小隊ヲ缺ク)

師團架橋縱列

大行李ハ距離ヲ存セス直ニ本隊ニ跟隨ス

西軍枝隊ハウステルハウゼンニ向ヒ行進中午前第八時十五分ノイ、ルツピンヨリ發シタル村長ノ電報ニ接セリ曰ク敵ノ騎兵ハ六月三十日ノ午後アルト、ルツピンニ出現シ電信線及電信機械ヲ破壊シ再ヒ東方ニ向テ去レリト―其後、ダムクルーグノ電信局ヨリウエルドベルヒ及

ヒ「ウステルハウゼン」ヲ經報告到着シ曰ク敵ノ騎兵ハ前
 晚「ウストラウ」ニ於ケル電話機ヲ除去シ且鍊線ヲ切斷シ
 テ當地ヲ去リ今ニ至ルモ(但シ午前第七時)再ヒ現出セス
 ト
 其後枝隊ノ前衛ハ午前第十一時頃「ウステルハウゼン」ノ
 西北ニ在ル「クレンボウエル」水車ニ達シ「ウエルドベルヒ」
 ヲ午前第九時三十分ニ發シタルA騎兵大尉ノ報告ニ接
 セリ曰ク我カ獨立騎兵ハ第九時三十分以來當地ニ停止
 シテ強大ナル斥候ヲ「ウストラウ」及「アルトルツピン」ノ方
 ニ派遣シタリ「グムクルーグ」及「ノイ、ルツピン」ニ在ル電信
 局ハ尙ホ事務ヲ扱ヒ此ノ時更ニ異狀ナシト報告シタリ

天候

此日温度人ニ適シ且太氣乾燥ス

問題

七月一日ノ午後及夜間ニ關スル枝隊司令官ノ部署及警

戒法

説明

余ハ先ツ戦況ニ於テ陳ハタル報告法ニ關シ注意セント
 欲ス、枝隊司令官ハ部下騎兵斥候ノ敵ト觸接スル以前既
 ニ敵ノ狀況ニ關シテ之ヲ概知スルヲ得タリ蓋シ如此キ
 利益ハ自國ニ於テ作戰スル軍隊ニ於テノミ能ク地方廳

ニ教示シ且之ヲ利用スルニ因リ甫メテ得ヘキ事トス若シ夫レ吾人西軍枝隊ハ敵國ニ在ルモノト仮定セヨ戰況ノ之カ爲メニ一變スルヤ明カナリ但シ秋季機動演習ニ於テハ甲軍隊ハ自國ニ乙軍隊ハ敵國ニ在ルカ如キ差別ヲ要セサルヲ往々之アリ縱令ハ統監如此キ差別ヲ爲スモ敵ニ關スル報告ハ兩軍隊指揮官ニ對シ適宜ニ之ヲ與フヘキカ故ニ自國ニ於テ作戰スル指揮官ト雖モ實際地方廳ヲ利用スルヲ能ハス

△騎兵大尉ノ報告ニ因リ「ダムグル」及ヒ「ノイ、ルツピ」ニ在ル電信局ハ第十時少シ前迄尙ホ事務ヲ取扱ヒ居タルヲ以テ觀レハ敵ハ未タ我ニ近ク前進セサリシヲ明

ナリ何トナレハ敵兵若シ近ク前進セハ必ス電信局ノ事務ヲ禁止スヘケレハナリ而シテ「ウエルドベルヒ」ヨリハ絶ヘス兩電信局ニ注意シ若シ此ノ兩電信局ノ中孰レカ連絡ヲ切斷スル時ハ直チニ之レヲ報告スヘキ筈ナルニ午前十時一十一時ニ至ルモ枝隊司令官ノ許ニ此報告到着セサル所ヲ以テ見レハ敵ハ午前第十時三十分迄ニハ「ダムグル」或ハ「ノイ、ルツピ」マテ前進セサルヤ亦タ明ナリ、此兩地點ハ前日敵ノ現出シタル「ハイルスベルヒ」ヲ距ルヲ大約二獨里ニシテ敵兵「ウステルハウゼン」ノ方ニ前進セントスル時ハ必ラス此兩地點ノ一ヲ通過セサル可ラサルニ其ノ騎兵スラモ七月一日ノ午前第十時三十分迄

現出セザリシヲ以テ考フル時ハ敵ノ枝隊ハ七月一日ニ
ハ前進セスシテ停止シタルヤ明カナリ故ニ我カ枝隊ハ
七月一日敵ト接觸スルト是レナカル可シ故ニ枝隊ノ前
衛及ヒ未隊ハ「ウステルハウゼン」ノ附近ニ於テ宿營シ只
微弱ナル警戒法ヲ用エルヲ以テ足レリトスヘシ
因テ枝隊司令官ハ次ノ命令ヲ下セリ

「クレンポリエル」水車ニ於テ千八百九十一年七月
一日午前第十一時十分

枝隊命令

第一、「ダムクルーグ」及「ノイ、ルツピン」ノ電信局ハ尙
ホ我カ手裡ニアリ敵ハ此等ノ地點迄前進セス

第二、枝隊ハ宿營セントス

第三、獨立騎兵ハ「ウエルドベルヒ」ニ停止シテ「ウスト
ラウ」及ヒ「アルト、ルツピン」ニ至ルマテヲ搜索ス
ヘシ

第四、前衛ハ「メツチエルチン」及ヒ「ガルトウ」ニ宿營シ
晩頃其半中隊ヲ乗車セシメテ「ウエルドベルヒ」
ニ派遣シ夜間警戒勤務ヲ爲サシム可シ

第五、本隊中ノ歩兵第二十聯隊第三大隊ハ砲兵二中
隊ト共ニ「ビエクウイッ」ニ於テ殘余ノ軍隊ハ「ウ
ステルハウゼン」ニ於テ宿營スヘシ

第六、糧秣ハ宿營地ヨリ徵發シ「ウステルハウゼン」ノ

舍營司令官ハC大佐トス

第七、命令ハ今晚第八時「ウステルハウゼン」ニ於テ授
與スヘシ

旅團長X少將(印)

上ノ命令ニ示スカ如ク前衛及ヒ本隊ノ宿營ハ目下敵ト
觸接セサルヲ以テ戰術上ノ事ヲ顧慮スルヲ尠ナク「ウス
テルハウゼン」ノミニ狹縮ナル舍營ヲ爲サシムルヲ避
ケ行進方向ニ沿フタル三個ノ村落ヲ利用シタリ、蓋シ軍
隊ヲ宿營セシムルニ既ニ通過シタル村落ヲ利用セズト
スルカ如キハ過失ナリ若シ之ヲ利用スルキハ軍隊ヲシ
テ更ニ退却セシメ爲メニ軍隊ニ不快ノ感情ヲ與フ可シ

所謂彼所此所ニ進退スルハ無益ナリト云フ原則ニ反ス
宿營シタル村落ニ於ケル警戒法ニ關シ命令中指示スル
「ナシ」是レ當時ノ舍營司令官ハ多年軍務ニ服シタル上
長官ニシテ如此キ簡單ナル場合ニ於テ適當ニ此レカ處
分ヲ爲スハ亦疑ヲ容レサル所ナレハナリ野外要務令第
九十二頁ニヨレハ宿營ノ警戒法ハ狀況ノ如何ニ依リテ
定ムルモノトアリ即チ敵ヨリ遠隔シタル單簡ナル行軍
舍營ヨリ大兵團ヲ集合シタル村落露營ノ警戒法ニ至ル
マテ種々ノ變化ヲ生スルモノトス而シテ枝隊ハ今ヤ自國
ニ在リ故ニ「ウステルハウゼン」ニ在ルモノハ外衛兵ヲ
配置スルヲ必要ナラスシテ内衛兵ヨリ複哨ヲ以テ該村

落ノ出口ヲ占領スレハ足レリトセシ然レモ「ピツクウイ
ツ」メツチエルチン」及ヒ「ガルトウ」ニ於テハ敵ニ對スル出
口ニ外衛兵ヲ配置シ他ノ出口ハ皆ナ内衛兵ノ複哨ヲ以
テ之ヲ占領スルヲ可トセシ
A騎兵大尉ノ「ウエルドベルヒ」ニ於ケル動作如何、大尉
ハ既ニ報告シタル如ク午前第九時三十分「ウエルドベル
ヒ」ニ到着シ直ニ電信局ニ到リ「ダムクルーグ」及ヒ「ノイ、ル
ツピン」ニ通スル電信未タ敵ノ爲メニ妨害セラレサルヲ
確認シタル後絶ヘス「ダムクルーグ」及ヒ「ノイ、ルツピン」ノ
兩電信局ニ注意スヘキヲ命シ尙電信局ニ二名ノ報告
騎兵ヲ備ヘタリ然ル後A騎兵大尉ハ諸方ヲ監視スルニ

便利ナル出口ヲ有スル大ナル農家ノ庭内ニ其部下騎兵
ヲ誘導シ此庭内ニハ厩及ヒ小屋アリ要スル厩ハ馬匹ヲ
容レ得ルヲ要ス今「ウエルドベルヒ」ノ豪家ハ此等ノ要求
ヲ充タスニ足ルヲ以テ若シA大尉ハ乃チ部下騎兵ヲ此
ノ庭内ニ入レテ下馬セシメタリト假定スル時ハ之レカ
爲メニ定ムヘキ警戒法ハ如何―他ナシA大尉ハ「ウエル
ドベルヒ」ヨリ「ダムクルーグ」及ヒ「ノイ、ルツピン」ニ電信ノ
通スル間ハ警戒ノ爲メニ銃前哨ノ外獨立下士哨ヲ編成
シテ其一ヲ「ケルツリン」ヲ經テ「ノイ、ルツピン」ノ方ニ通ス
ル街道ニ他ノ一ヲ「ウエルドベルヒ」ノ東南出口ヲ經テ「マ
ンテル」ニ通スル道路ニ配置シ而シテ電信通セサルニ至レ

ハ直ニ此ノ兩下士哨ハ各々一小隊ノ兵力ヲ有スル小哨ニ變更セサルヘカラス
 又「ウストラウ」及ヒ「アルト、ルツピン」ノ方ニ派遣シタル斥候ニ關シテ述アル所アラントス抑モ此ノ斥候ハ八騎ヨリ成ル將校斥候ニシテ「ウストラウ」ニ派遣セラレタル斥候ハ午前十時三十分「ダムクルーグ」ニ到着セリ於茲「ウエルドベルヒ」ヨリ來ル電信命令ヲ「ウストラウ」ニ傳達スル爲メ騎兵三名ヨリ成ル一遞騎哨ヲ其電信局ニ殘シ之レヲ「ウエルドベルヒ」ニ通報セリ而シテ午前第十一時十五分斥候ハ「ウストラウ」ニ到着シ住民ニ就テ敵ノ騎兵八乃至十名約一時間前ニ來リ漸時間停止シタル後チ再ヒ「アル

ト、フリーザツク」ノ方ニ退却シタルヲ知レリ之レト同時ニ「アルト、フリーザツク」ヨリ來ル農夫斥候ニ告テテ曰ク敵ハ「アルト、フリーザツク」ヲ占領セスト雖モ其騎兵ハ屢々該村落ニ現出スト斥候長ハ直ニ此ノ報告ヲ「ダムクルーグ」ニ電報シ該所ヨリ又十二時十分頃A大尉ニ報シ更ニ十二時三十分枝隊司令官ニ此報告到着シタルモノトス

「ウストラウ」ニ在ル斥候長ノ動作如何一若シ此斥候長ニシテ恰モ獨立下士哨ノ如ク敵方ニ通スル「ウストラウ」出口ニ位置スルヲアリトセハ予ハ之ヲ適當ナル動作ト認ムルヲ能ハス如此スルモハ稍強大ナル敵ノ斥候ト遭遇

スルニ當リテ斥候ノ外尙其軍隊後方ヨリ之ニ跟随シ來ルヤ否ヲ實驗スルニ隙ナク忽チニシテ退却セサル可ラサルニ至ルヘケレハナリ加之斥候ノ露顯ニヨリ敵ヲシテ却テ枝隊ノ企圖ヲ察知スルノ時機ヲ與フルモノアリ抑斥候ハ成ルヘク隱蔽シテ位置シ敵ノ小斥候ハ其退路ヲ遮斷シテ之ヲ逮捕セシメ勉メ其ノ大斥候ハ之ヲ妨害セスシテ通過セシメ然ル後其位地不利ナルカ或ハ停止スルヲ能ハサルニ至リ始メテ之ヲ避クルヲ良トス即チ斥候ハ側方ニ在ル農廈ヲ撰テ位置シ潜伏哨所ニ依リテ敵方ニ通スル街道ヲ監察スルヲ要ス而シテ此農廈タルヤ自由ニ野外ニ至リ得ヘキモノナラザルヘカラス予

ハ信ス如此ク動作スルハ軍隊ノ爲メ利スル所大ナルヲ其他予ハ「ダムクルーグ」ニ在ル遞騎哨ハ適當ノ動作ヲナシ若シ敵ノ斥候「ウストラウ」ヲ通過シタルトアルハ此ノ斥候ヲ爲メ逮捕セラレザランコトヲ望ムアルト「ルツピン」ニ派遣シタル斥候ハ午前第十時三十分頃「マイ、ルツピン」ニ到着シテ一遞騎哨ヲ設ケタル後午前第十一時「アルト、ルツピン」ニ到着セリ此時ニ當リ住民ヨリ報アリ曰ク三十乃至四十名ヨリ成ル敵ノ騎兵ハ今朝午前ニ於テ作晚ノ如ク當所ニ來リ又「ウルコウ」ノ方ニ進ミタリト斥候長ハ之レニ關スル報告ヲ送り側方ニ在ル農廈ニ於テ隱匿シタリ

右ノ兩斥候長ノ報告及ヒ「クレンボウエル」水車ヨリ「ウエルドベルヒ」ニ到着シ「ル」枝隊命令ハ之カ爲メ大尉ヲシテ別ニ警戒ノ爲メ處置セシムル事ナカリシ
 夜間勤務ノ爲メ「ウエルドベルヒ」ニ派遣セラレタル歩兵半中隊ハ外衛兵ヲ以テ「テムニツツ」河ヲ經テ通スル道路即「ウエルドベルヒ」ノ東北及東南出口ヲ占領シ殘余ノ兵ハ騎兵ヲ保護スル爲メ之ヲ豪家ニ宿營セシメタリ其後「ケルツリシ」及「マンケル」ニ通スル道路ニ置キシ兩獨立下士哨ハ之ヲ撤去シ晝間騎兵ハ「ウエルドベルヒ」ニ於テ部隊毎ニ交代シテ鞍ヲ換ヘ歩兵到着シタル後ハ全馬匹ヲシテ脱鞍セシメタリ

向キニ温度ハニ適シ且ツ大氣乾燥スルモノト假定セリ今此天候及ヒ時季ニ關シ部署ヲ變更スルヤ否ノ問題ニ移ラント欲ス、抑モ炎熱酷シキ片ハ警戒法ニ關シテハ敢テ變スルコトヲ要セサルモ出發ニ就テハ成ル可ク早ク之ヲ起スモノトス然レモ若シ連日強雨降り「ダムクルーグ」及ヒ「ノイ、ルツピン」ニ在ル電信局尙ホ其事務ヲ取扱ヒ得ル片ハ「ウストラウ」及ヒ「アルト、ルツピン」ノ方ニ派遣スルキ將校斥候ハ之ヲ見合スヘシ何トナレハ強雨ニ際スル片ハ斥候ハ遠ク望見スルコト能ハス縱令將校斥候ヲ派遣スルモ其結果ナキモノナレバナリ司令官タルモノ多分ハ之ヲ派遣スルコトナカル可シ然リト雖モ情況ニヨリ此

斥候ノ爲メ從來嘗テ知ラザリシ敵ノ兵力ニ關シ明確ナル報告ヲ得、大ナル利益ヲ得ルヲ亦オナシトセス、其他強雨ニ際シテハ「ピツクウイツ」メツチエルチン及ヒ「ガルトウ」ニ在ル外衛兵ヲ掩蔽下ニ入レ、騎兵モ亦タ「ウエルドベ」ルヒノ豪家内ニ入レ、夜間ハ「テムニツツ」河ニ沿フテ配置シタル二個ノ歩兵外衛兵ト雖、其之レヲ近傍ノ家屋内ニ容ル、トヲ得ヘシ。

今試テ時季ヲ七月一日トセスシテ、寒氣肌ヲ徹シ、池水皆氷結スル所ノ一月一日ト假定セヨ、配備ノ變換スルヤ固ヨリ論ヲ待タサルナリ、即チ「ダムクル」及「ノイ、ルツ」ニ電信相通スル間ハ、獨立騎兵ヲ派遣スルヲナク、騎兵

ハ之ヲ前衛ニ止メ、メツチエルチン及ヒ「ガルトウ」ニ於テ宿營セシムルナラン、又前衛ニ在ル砲兵中隊ハ、步兵第二十聯第三大隊ノ三中隊ト共ニ危險寡キ「ブリツクウイツ」ニ他ノ砲兵二中隊ハ、第三大隊ノ一中隊ト共ニ「カンベル」ニ宿營セシムヘシ、此ノ如クスル時ハ、其警戒法ハ「ブリツクウイツ」メツチエルチン及ヒ「ガルトウ」ニ外衛兵ヲ置キ以テ足レリトス、然レモ若シ「ダムクル」及ヒ「ノイルツ」セシノ電信相通セサルニ當テハ、此ノ外衛兵ヲ「バル」ウ「ガシツ」エ「ル」及「テツ」ウニ通スル街道上ニ配備シ、扣兵ハ從來シ外衛兵ノ位置セシ地點ニ出テ、警急舎營ヲ爲シ、斥候ヲ遠ク派遣セシメサルヘカラス。

西軍枝隊ヲシテ若シ敵國ニ在ルモノト假定スル時ハ戰況ハ亦タ更ニ一變スヘシ何トナレハ從來地方廳ヨリ與ハタル救助法ハ總テ之ヲ受クルコト能ハスシテ反ツテ敵之レヲ受クレハナリ即チ敵ヲ關スル情況一變スルキハ搜索及ヒ警戒勤務ノ方法モ又之レヲ變セサルヘカラス特ニ國民敵愾ノ心ヲ懷ク時ハ必ス之レニ應スル搜索及ヒ警戒法ヲ設ケサルヘカラス次ニ示ス所ノ例ニヨリ以テ之レヲ証明スルニ足ラン

B 第一戰況

西軍枝隊敵國ニ於テハ「ウステルハウゼン」ノ西方約三獨里ニ在ル「ハトフェルベルヒ」北方ノ諸村落ニ在リ而シテ其

警戒ノ爲メ「ドツセ」河畔ニ至ル迄ノ地ヲ搜索シタリ而シテ枝隊ハ信用スヘキ代理商ノ報告ニ依リ敵ハ「レドウエ」ベルヒニ集合セント欲スルコトヲ知レリ於是枝隊ハ之ヲ探知スル爲メ「ウステルハウゼン」ヲ經テ前進シ勉メテ其兵力ヲ分離セシムヘキ命令ヲ受ケタリ而シテ枝隊ハ七月一日ノ朝前夜ニ掲ケタル軍隊區分ヲ以テ「ウステルハウゼン」ノ方ニ前進シ其ノ前衛ハ午前第十一時頃「ウステルハウゼン」ノ西北ニ在ル「クレンボーエル」水車ニ達シA騎兵大尉カ「ウエルドベルヒ」ヨリ送リタル報告ニ接シタリ日ノ獨立騎兵ハ午前第九時三十分以來「ウエルドベルヒ」ニ停止シ一小隊ヲ搜索ノ爲メ午前第十時頃「アエ」セル

リシ及ヒノイルツピンノ方ニ派遣シタカト其他枝隊ハ
今ニ至ルモ敵ニ關シテ見聞スル所ナシウステルハウゼ
ンニ於ケル土民ノ舉動不穩ナリ

天候

此日温暖人ニ適シ大氣乾燥ス

問題

七月十一日ノ午後及ヒ夜間ニ關スル枝隊司令官ノ部署
—警戒法、

説明及ヒ答解

吾人ハA第一ノ戦況ヲ説明スルニ當リ敵ハ七月一日ニ
於テヘルツベルヒヨリ西方ニ前進セサルモノト假定シ

タリ、此ノ假定ハB第一ノ戦況ヲ説明スル基礎トナリシ
カ、西軍枝隊敵國ニ在ルノ故ヲ以テ七月一日敵情ニ關
シ得タル所ノ報告ハ甚タ明確ナラス且ツ甚タ遅ク之ヲ
知ルヲ得タリキ實ニ西軍枝隊司令官ハ午前第十一時頃
ニ至ルマテハ敵ノ位置ヲモ知ラザリシ故ニ獨立騎兵ハ
何時前進ノ敵ト衝突スルヤ料ラレスシテ獨リ獨立騎兵
ノミナラス西軍枝隊ノ本隊ト雖モ亦タ敵ト衝突スルコ
トオキヲ保スル能ハザリシ何トナレハ敵兵前日既ニレ
ウエンベルヒヲ經テ前進シ七月一日ニハウステルハウ
ゼヲ以テ彼ハ其行進目標ト定メ前進シ得ハナリ然
ルニ西軍枝隊ハ素ト攻勢ヲ取ルヘキ任務ヲ有スルヲ以

テ「ウス」タルハウゼン」ノ長キ隘路ハ勉メテ速カニ之レヲ
 通過セサルヘカラサリシ是レ隘路内ニ於テ敵ニ對シテ
 展開スルカ如キナカラシメシカ爲メナリ、A第一戦況ニ
 於ケルガ如ク西軍枝隊ハ本隊ヲ「ウス」タルハウゼン」ニ停
 止セシメ前衛本隊ヲ「メツチエル」チン」ノ附近ニ置ク片ハ
 此前衛ハ適當ナル時機ニ援助ヲ得ルヲ難ク即チ前衛ハ
 「ウネ」タルハウゼン」ノ方ニ撃退セラレ枝隊ハ不利ナル情
 況ソ下ニ敵ト戦聞セサルヘカラサルカ如キ場合ニ至ル
 ヘシ故ニ枝隊長ハ天候ノ良好ナルヲ利シ本隊ヲ「ビツ」ク
 「ウイ」ツ」メツチエル」チン」及ヒ「ガルト」ウ」ノ線迄前進セシム
 ルヲ決シ先ツ枝隊ヲ停止セシメ左ノ如ク命令セリ

「クレ」ン」ポ」エル」水車ニ於テ千八百九十一年七月

一日午前第十一時三十分

枝隊命令

第一、獨立騎兵ハ今ニ至ルモ敵ト衝突セズ

第二、獨立騎兵ハ「ウイ」ルド」ベル」ヒ」ニ停止シテ「ダム」ク

ル」イ」グ」ノ」イ」ル」ツ」ヒ」ン」及ヒ「スト」ル」ベ」ツ」ク」ノ線ヲ

搜索スヘシ

第三、前衛及ヒ本隊ノ宿營左ノ如シ

前衛(輕騎兵一小隊ヲ缺ク)ハ「メツチエル」チン」ニ

於テ、歩兵第二十聯隊ノ第三大隊及ヒ前衛ノ輕

騎兵一小隊ハ「ガルト」ウ」ニ於テ歩兵第三十五聯

隊ノ第一第二大隊砲兵第二第三中隊ハ「ピツク
ウイツ」ニ於テ歩兵第三十五聯隊第三大隊（一中
隊ヲ缺ク）ハ「カンヘル」ニ於テ歩兵第三十五聯隊
第三大隊ノ一中隊工兵中隊（一小隊ヲ缺ク）及ヒ
師團架橋縱列ハ「ウステルハウゼン」ニ於テ宿營
スハシ

第四、「ピツクウイツ」メツチエルチン「及ヒ「ガルトウ」ヨ
リ「バルヨウ」ガチエル」及ヒ「デツソウ」ノ方ニ
外衛兵ヲ派遣シ扣兵ハ三個ノ村落ニ於テ警急
舍營ニ在リテ準備シ「ウステルハウゼン」ニ於テ
ハ「ドツセ」河ニ橋梁ヲ架設スヘシ、土民ハ皆テ敵

ハ「心ヲ懷キ不穩ノ舉動アルヲ以テ警戒ヲ嚴
ニセサルヘカラス

第五、軍隊ハ村落ニ到着シタル後直ニ炊爨シ糧食ハ
之レヲ徵發スヘシ

第六、警急集合ノ時ハ各隊其村落内ニ停止シ余ノ舍
營メツチエルチンニ命令受領者ヲ派遣スヘシ
旅團長又少將(印)

此命令ニ因テ定メタル部署ハ目下ノ狀況ニ適シ他ニ方
法ナシト斷言スル能ハス即チ枝隊司令官或ハ目下ノ狀
況ニ於テ枝隊ヲ露營セシムルモノアルヘク又枝隊ヲ宿
營セシムルハ獨立騎兵ヨリ敵前進セストノ確報ヲ齎ラ

シ來ル後ニアラサレハ之ヲ決行セスト云フ者アルヘシ
 然レモ茲ニ注意スヘキ者アリ我カ軍ハ正午第十二時前
 ニ於テ指示セラレタル宿營地ニ到着スル能ハス而シテ第
 十二時マテニハ敵兵前進スルヤ否ヤノ報告ヲ以テチエル
 チンニ到着スヘキ事若シ敵兵前進スルノ報アル場合ニ
 ハ毫モ困難ヲ感スルコトナク之ニ對スル方法ニ變シ得ヘ
 キト及ヒ午前第十時頃ニ至ルモ騎兵斥候敵ト衝突セサ
 ルヲ以テ觀シテハ最早敵ト衝突スルモ眞面目ノ戰鬥ヲ交
 ヲルコトナシト假定シ得ヘキト是ナリ要スルニ目下ノ狀
 況枝隊カウステルハウゼシノ隘路内ニ停止スルハ適當
 ナル處置ト爲ス可ラス

枝隊ハ今ヤ敵國ニ在リ土民ハ敵愾心ヲ抱キテ不穩ノ舉
 動アリ且ツ其ノ別働隊ニ對シ警戒スヘキ要アルヲ以テ
 宿營シタル村落ノ入口ハ複哨ヲ以テ警戒スルヲ以テ足
 レリトモ必ラスヤ小衛兵ヲ以テ之ヲ警戒スルコト必要
 ナルヘシ而シテ此ノ衛兵ハ土民ノ交通ヲ禁止シ又土民ノ
 舉動如何ニ依ツテ人質ヲ收メ又周邊ニ斥候ヲ派遣セサ
 ル可ラス然レモ是等ノ事目下ノ狀況ニ關シテ一定ノ法
 則ヲ設ルコト能ハス舍營司令官ノ爲スヘキ部署モ亦々村
 落内ニ入りタル時ノ感情ヨリ之ヲ決定セサル可ラス
 夫ノ警急準備ヲ爲シ在ルヘキ扣兵ト雖モ敵兵ヲダムクル
 トク「ノイルツピン」ストルニツク線ニ至ル線ヲ占領セサ

ル報告ヲ以テ之ヲ撤去セシムルヲ恐クハ不可ナルヘシ
 何トナレハ扣兵ハ土民ヲ制御スル爲メニモ之ヲ必要ト
 スレハナリ、蓋シ枝隊司令官ヨリ與フル命令ハ縱令切迫
 瀕々虞場合ト雖モ充分ニ其意ヲ盡サ、ルヘカラス—命
 令受領ニ關シ規定スル所ナシ是レ爾後與フヘキ命令ハ
 敵ニ關スル報告ノ到着後之ヲ發スヘキ者ナレハナリ是
 レ則宿營ヲ容易ニシ且ツ迅速ナラシムルノ方便トス
 吾人ハA騎兵大尉カ從來施行シタル處置及ヒ枝隊命令
 ニ基ヒテ同日中ニ定ムヘキ部署ニ關シ聊カ述フル所ア
 ラズトス、吾人ハ此騎兵中隊ヨリ搜索ノ爲メ建制一小
 隊ツ、ヲ「フェルベルグ」及ヒ「ノイ、ルツピン」ニ派遣セラ

レタルヲ觀ル是レ數ノ斥候ヲ擊退セシカ爲メナリ、蓋
 シ土民ノ舉動不穩ナル時ニ當リ唯斥候ノミヲ以テ「フェ
 ルベルグ」及ヒ「ノイ、ルツピン」ノ如キ大村落ニ進入セシ
 ムルハ探ルヘキ方法ニアラザルナリ況ンヤ敵方ニ通ス
 ル電線ヲ破壊シ強力ナル遞騎哨ヲ設置スヘキ必要アル
 ニ於テ「ヤ、今茲」ニ此小隊ハ各、下士一名兵卒六名ヨリ成
 ル遞騎哨ヲ「プロツチエン」ノ北方ニ在ル高地及ヒ「ダー、
 ルゴツツ」ノ平原ニ設置シ而シテ敵兵未タ「フェールベル
 グ」及ヒ「ノイ、ルツピン」ヲ占領セサルヲ以テ更ニ前進シ該
 村落ノ彼方ニ在ル電信ヲ切斷シ之レヲ「ウイルドヘルヒ」
 ニ報告シタルモノト假定セヨ爾後此二小隊ノ行フヘキ

動作如何此二小隊ハ曾テA大尉ヨリ教令ヲ受ケテ此等ノ村落ニ派遣セラレタルモノナリ而シテ此ノ騎兵小隊等ハ今ヤ密閉シタル村落内ニ駐止スル能ハサル可シ若シ密閉セル村落内ニ駐止スルキハ周圍ニ警戒法ヲ設クルノ要アリ故ニ寧ロ原野ニ於テ露營スルヲ良トセン即チ騎兵小隊ハ通視ニ便ナル地點ニシテ向ニ遞騎哨ヲ設置シタル地點ニ退キ騎兵中隊ヲ爲メ小哨トナリ遠ク展望スルヲ良トセン此ノ地點ニ於テ二小隊ハ各小哨トナリテ薄暮迄停止シ而シテA大尉モ亦タ土民ノ舉動不穩ナルト村落(ウエルドベルヒ)ノ廣大ナル爲メ周圍ヲ警戒スルノ必要アルヲ以テ寧ロ騎兵中隊ヲ村落外ニ出シ陣地ヲ

占領セシムルヲ以テ得策トスルナラン然ルキハA大尉ハ下士哨ヲ以テ自ラ掩護ス可シ否ヲサレハ大尉ハ下士哨ヲ以テ村落ノ入口ヲ閉塞シ人質ヲ收メサルヘカラス然レモ是等ノ處置ハ村落外ニ在ル者ニ比シテ安全ナル能ハサルヘシ

更ニ夜間ノ爲メニ要スル特別警戒法ニ關シテ熟考セシニ前衛及ヒ本隊ハ外衛兵及ヒ戰鬪ノ準備ヲ爲シ警急舎營ニ在ル扣兵ヲ以テ充分ニ警戒セラル故ニ第一法トシテ獨立騎兵ヲ「ウイールドベルヒ」ト「フロッチェン」及ヒ「ダトベルゴツツ」ノ附近ニ露營セシメ第二法トシテ此騎兵ヲ「ウイールドベルヒ」ニ集合シテ露營セシメ第三法トシテ步

兵ヲシテ「ウイルドベルヒ」ノ警戒ヲ爲サシメ騎兵ハ之ヲ
 掩護下ニ宿營セシメ第四法トシテ騎兵ヲシテ充分ナル
 休憩ヲ爲サシメンカ爲メ「メツチエルチン」マテ販還セシ
 ムルヲ得ヘシ
 第一ノ場合ニ於テハ騎兵ヲシテ無益ニ彷徨セシムルノ
 憂ナシト雖モ目下ノ狀況ヲ顧ルルハ全馬匹ヲシテ裝鞍
 セシメサル可ラス是レ騎兵科ノ甚タ忌ム所ニシテ寧ロ
 一乃至二獨里後方ニ退却シテ休憩ニ就クヲ欲スルナル
 ヘシ第二ノ場合ニ於テハ僅ニ部隊毎ニ脱鞍シ得ルノミ
 ニシテ警戒ノ爲メニ要スル兵卒ハ第一ノ場合ニ於ケル
 ト殆ント同一ニシテ稍僅少ナリト云フニ過キス加之騎

兵二小隊ハ約一獨里程後方ニ退還セサル可ラス而シテ此
 里程ハ翌日更ニ行進セシムルノ煩アリ故ニ最モ便利ナ
 ル方法ハ騎兵ヲ「ウイルドベルヒ」ニ於テ宿泊セシメ歩兵
 ヲ以テ是カ警戒ヲ擔任セシムルニ在リ如斯スル者ハ始
 メテ騎兵ニ充分ナル休憩ヲ爲サシムルヲ得ヘシ然レモ
 「ウイルドベルヒ」ノ大村落ヲ警戒スルニハ少ナクモ歩兵
 一中隊ヲ要ス而シテ此ノ歩兵ハ「メツチエルチン」ヨリ乘
 車セシメテ運搬セサルベカラス何トナレハ歩兵ハ此日
 既ニ三獨里半ヲ行進シ晩ニ至リテ尙一獨里進メテ警戒
 勤務ヲ行フ甚タ困難ナレハナリ果シテ然ラハ此ノ歩
 兵中隊ヲ運搬スル爲メ約二十五輛ノ車ヲ要ス此ノ車輛

ハ「メツチエルチン」及ヒ其近傍ニ於テ徵發セサルヘカラ
 サルソ不便アリ第四ノ場合ニ於テハ騎兵ハ七月一日ニ
 於テ四獨里半乃至六獨里半ノ行進ニ代フルニ五獨里半
 乃至八獨里半ノ行進ヲ行ハサル可ラスト雖モ騎兵ハ第
 三ノ場合ニ於ケルヨリモ充分ナル休憩ヲ得ヘシ但シ此
 第四ノ場合ニ於テハ騎兵ハ翌日更ニ一乃至二獨里多ク
 行進セサルヘカラサルノ不便アリ是ニ因テ之ヲ觀レハ
 騎兵ヲ「ウイールドベルヒ」及其近傍ニ集合シテ宿營ニ
 シメ歩兵一中隊ヲ「ウイールドベルヒ」ヨリ運搬シ其警戒ヲ
 擔任セシムルヲ良トス可シ是レカ爲メ「メツチエルチン」
 及ヒ其近傍ニ於テ車輛ヲ徵發セサル可ラサルヲ以テ若

シ之ヲ爲ス能ハサルモハ騎兵ヲシテ「ウイールドベルヒ」ニ
 於テ露營セシムルヲ良トス
 更ニ一步ヲ進メ天候及ヒ時季ノ爲メ如何ニ探ルヘキ處
 置ヲ變更セサル可ラサルヤヲ攻取セントス蓋シ若シ強
 雨連降スル時ハ彼我ノ軍隊共ニ其計畫ヲ中止スルニ至
 ルヘシ是レ敵ヲ充分ニ觀察スルヲ能ハザレバナリ然レ
 七月一日ノ天候ト雖モ搜索勤務ヲ制限シテ唯其一部分
 ヲ行フニ過キサラシメタリ即チ獨立騎兵ハ「プロツチヤ
 シ」ステツヒン「ダーベルゴツウ」ウエルアル「ワールホルト
 ベン」ノ線ヲ搜索シタルニ過キスシテ專ラ自己ノ警戒ヲ
 務メタルノミ如此搜索勤務ノ制限ハ夜間馬匹ヲ掩護下

ニ繫キテ脱鞍スル爲メ再ヒ後方ニ皈還スルノ必要アル
 其ハ殊ニ然リトス况ンヤ土民ノ舉動不穩ナル時ハ馬匹
 ヲ小群ニ分割シ置クヲ能ハサルニ於テヲヤ此場合ニ於
 テハ戦闘準備ニ在ル扣兵ヲシテ「メツチエルチン」及ヒ「ガ
 所トウ」ニ備フルヲ缺クヘカテサルモツトス

冬季ノ天候ハ搜索勤務ヲ制限スルヲ一層大ナリ何トナ
 レハ冬日ハ夏日ヨリモ殆ント半日短キヲ以テ其搜索モ
 亦夏日ニ於テスルノ半日ニ過キサレハナリ若シ夫レ嚴
 寒及ヒ烈風ノ日騎兵ヲ露營セシムル歟忽チニシテ自滅
 センノミ而シテ人若シ其騎兵ヲ失ハン歟軍隊ノ作戰何ニ
 因テ之ヲ完フスルヲ得ン乃チ知ル冬季ニ於テハ騎兵

ヲシテ其搜索勤務ヲ制限シテ久シク作戰ニ堪ヘシムル
 乎或ハ之ヲ節用スルヲ漸時間ノ活潑ナル作戰ヲ爲
 シ忽チ軍隊ヲ不具ニ陥ラシムルノ二法アルヲ故ニ若シ
 七月一日ト假定スル時ハ騎兵ハ「テムニツツ」河ニ至ル迄
 ヲ搜索セシメ夜間ハ之ヲ前衛ニ皈還セシムルヲ以テ良
 策トスヘシ而シテ此場合ニ在テハ強大ナル外衛兵ヲ村落
 ノ入口ニ置キテ警戒セシメ扣兵ヲ警急舎營ニ就カシメ
 斥候ヲ近傍ニ在ル村落迄派遣スルヲ以テ足レリトス何
 トナレハ西軍枝隊ハ冬季ハ遅ク出發スルヲ以テ從テ遅
 ク「ウステルハウゼン」ニ到着シ日忽チ暮ル、ヲ以テ敵兵
 ヲシテ其計畫ヲ更ニ改メシムルノ猶豫ナケレハナリ

以上ノ説明ハ「ヘルツベルヒ」若クハ「レノウエツベルヒ」附近ニ到着シタル敵ハ西軍枝隊ノ「ウステルハウゼン」ニ進ミタル日ニ於テ西方ニ行進セス停止スルカ或ハ他ニ行進方向ヲ轉シタルモノト假定シタルナリ、今ヤ吾人ハ西軍枝隊カ前進中ノ敵ト衝突スルモノト見做シテ述ル所ヲラントス

◎ 第一戦況

西軍枝隊(自國ニ於テ)ハ「ウステルハウゼン」ノ西方約三英里ニ在ル「ハーフメルベルヒ」ノ北方ニ在ル村落ニ於テ駐營シ六月三十日午後「ルツピン」郡ノ議員カ「アルト、ルツピン」ヨリ發シタル電報ヲ受領シタリ曰ク各兵種ヨリ編成

シタル敵ノ枝隊ハ東方ヨリ來リテ正午頃「ヘルツベルヒ」ヲ占領シタリト又「ノイルツピン」ノ電信局ヨリ晚ニ至リ「アルト、ルツピン」トノ電線切斷シタリト報告シ又其後「ダムクルーグ」ノ停車場ヨリ「ウエストラウ」ニ通スル電話機不通ナルヲ報告シ來レリ、枝隊ハ此ノ狀況及ヒ枝隊司令官ノ受ケタル教令ニ因リ七月一日ノ朝敵ヲ搜索シ且ツ之ヲ撃退セシカ爲メ前文ニ記載シタル軍隊區分ヲ以テ東方ニ行進セリ、枝隊司令官ハ「ウステルハウゼン」ニ向テ行進中更ニ「ウイルドベルヒ」ノ電信局ヨリ報アリ曰ク電信ハ「ダムクルーグ」ニ通スルモノ「ノイルツピン」ニハ最早通セスト而シテ午前第十一時頃前衛カ「ウステルハウゼン」

騎兵大尉ノ「ウイールドベルヒ」ニ於テ午前第九時五十分ニ
 發シタル報告ヲ受領シタリ曰ク騎兵斥候ハ「ダーベルゴ
 ツ」ノ附近ニ於テ敵ノ大ナル騎兵部隊ニ遭遇シタルヲ
 以テ余ハ全力ヲ擧ケテ「ダーベルゴツツ」ノ方ニ前進スト
 茲ニ於テ枝隊司令官ハ枝隊ヲ「メツチエルチン」ニ續行セ
 師團架橋輜重本隊ニ在ル工兵及大行李ハ「ドツセ」
 河ノ西岸ニ在ル「ウステルハウゼン」ニ於テ停止スヘキト
 又命シタリ其後前衛ハ正午第十二時「メツチエルチン」ニ
 達シA騎兵大尉カ午前第十一時二十分ニ「ケルツリン」ノ
 東方ヨリ發シタル報告ヲ受領シタリ曰ク余(A騎兵大尉)

ハ第十時少シ過キ「ケルツリン」ノ東方ニ在ル煉瓦製造所
 又近傍ニ於テ敵ノ騎兵中隊ト衝突シテ之レヲ「ダーベル
 ゴツツ」ノ方ニ擊退シ余ハ該村ノ西方出口ニ於テ前進ス
 ル敵ノ歩兵ヨリ擊退セラレタリト雖モ南方ヨリ該村ヲ
 周リ午前第十時四十五分頃約歩兵三大隊及ヒ砲兵一中
 隊「ヘヒリン」ヨリ「ダーベルゴツツ」ニ通スル街道ヲ西方ニ
 向テ前進スルヲ觀察シタリ尙敵ハ行進ヲ續ク其歩兵尖
 兵ハ十一時二十分「ケルツリン」ノ東方ニ在ル煉瓦製造所
 ノ近傍ニ在リ、又「ダムクルーグ」ヲ經テ「ウストラウ」ノ方
 ニ派遣シタル將校斥候ハ未タ報告ヲ送り來ラス又「ダム
 クルーグ」ノ電線ハ切斷セラレタリト、枝隊ハ既ニ約三

獨里半ノ行進ヲ爲シタルヲ以テ枝隊司令官ハ枝隊ヲ停止セシメ命シテ曰ク前衛ハ「メツチエルチン」ノ東方出口ニ於テ戰鬪準備ヲ爲シ本隊ハ「メツチエルチン」ノ西方出口ニ於テ掩蔽シテ開進スヘシト又午後第一時頃報告到着シタリ曰クA騎兵大尉ハ部下ノ騎兵一中隊半ヲ以テ「ガンツェル」ノ東南ニ停止シ敵ハ其步兵尖兵ヲ「ウイルドベルヒ」ノ西方出口ニ停止セシメ其騎兵前哨ヲ「ラング」ハ「イニゲンベルヒ」及ヒ「ガンベルヒ」ニ亘ル線上ニ配置シタリ「ダムクル」クヲ經テ前方ニ派遣シタル斥候ハ「ダムクル」クニ於テ敵ノ騎兵一小隊ト衝突シ「マンケル」ヲ經テ退却シタリ此敵ノ騎兵一小隊ハ「カルツ」ノ北方ニアル

ブル「メンタールベルヒ」ヨリ「ウイルドベルヒ」ノ方ニ前進シタリト

天候

此日温暖人ニ適シ大氣乾燥ス

問題

七月一日ノ午後及ヒ夜間ニ關スル枝隊司令官ノ部署警戒法、

説明

敵ノ步兵約三大隊、騎兵一中隊及ヒ砲兵一中隊ハ「ノイ、ルツピン」ヨリ「ウイルドベルヒ」ニ前進シ又騎兵一小隊ハ「ダムクル」グ「ヨリ」マンケル」ヲ經テ「ウイルドベルヒ」ノ方ニ

行進シタル報告アリ然レモ「ノイ、ルツピン」ヨリ敵ノ他ノ
 軍隊跟随シ來ルヤ其騎兵一小隊ハ「ダムクルーグ」ヲ搜索
 ノ爲メニ前方ニ派遣セラレタルモノナルヤ或ハ此ノ一
 小隊ハ大縦隊ノ尖兵ナルヤ未タ之ヲ知ル能ハス—然レ
 モ爾來報告シ來ル所ノ敵ノ軍隊ハ前日ノ正午頃「ヘルツ
 ベルヒ」ニ到着シタルモノナルカ如シ左ナクトモ其一部
 分ナルトハ殆ント疑ヲ容レズ此推測ニシテ誤リナキハ
 ハ此ノ軍隊ハ七月一日ノ朝ニ至ルマテ「ヘルツベルヒ」ニ
 滯陣シ同日出發シテ「ウイールドベルヒ」ニ達センカ爲メ三
 獨里半ノ行進ヲ行フタルモノナリ故ニ此敵ハ七月一日
 ニハ「ウイールドベルヒ」ヨリ進ンテ更ニ何事ヲモ企ツルコ

ナキハ事實ナルヘシ然レモ亦タ此敵ハ該所ニ於テ炊爨
 シ更ニ前進スルコトナシト斷言スル能ハス—西軍枝隊ハ
 攻戰ノ任務ヲ負フ者ナリト雖モ七月一日三獨里半ノ行
 進ヲ爲シタル後チ續テ前進スヘキ必要ナカルヘシ何ト
 ナレハ「西軍枝隊」此行進ヲ行フ時ハ疲勞シタル軍隊ヲ以
 テ敵ト戰ハサルヘカラサレハナリ然レモ西軍枝隊ハ七
 月一日敵ノ不意攻撃ヲ慮リ之レカ準備ヲ爲サハルヘカ
 ラス即チ敵ノ近傍ニ在ルカ故ニ前哨ヲ配置シ枝隊ノ本
 隊ハ露營或ハ村落露營ヲ行ナハサルヘカラス
 本書ニ附シタル參謀圖ニ就キ考ルニ「ウステルハウゼン」
 ノ東方ニ在ル地ハ殆ント平坦ニシテ只多少ノ地波アル

ノミ而ノ「ラントウエル」濠ハ步兵ノミ之ヲ通過シ「ロ
ルレツケル」濠ハ橋梁ニヨルニアラサレハ之ヲ通過スル
可能ハス

此場合ニ於テハ前衛ハ「メツチエルチン」ニ於テ村落露營
ヲ爲シ其前哨線ハ「メツチエルチン」ト「ガンツエル」ノ中間
ニテ右翼ヲ「ロールラツケル」濠ニ左翼ヲ「ラントウエル」
濠ニ托シテ之ヲ設置スルヲ得可シ步兵第二十聯隊第三
大隊即チ本隊ノ先頭大隊ハ輕騎兵一小隊ト共ニ「ガルト
ウ」ニ村落露營ヲ爲シ其前哨ヲ以テ「リーセンウイ」ト「
ニ在ル」藪林及ヒ「デツソウ」ニ通スル道路ヲ占領セシム可
シ、輕歩兵第三十五聯隊及ヒ本隊ノ砲兵二中隊ハ「ピツク

ウイツ」ニ露營シ外衛兵ヲ以テ自ラ警戒シ師團架橋縱列
ハ本隊ノ工兵ト共ニ「ドツセイ」河ニ新ニ橋梁ヲ架セシカ
爲メ「ウステルハウゼン」ニ止メ大行李ハ該所ヨリ晚頃ニ
至リ始メテ之ヲ招致スヘシ、從來ノ獨立騎兵ハ敵ト甚
タ近接シアルヲ以テ之ヲ前衛司令官ニ屬シテ前哨騎
兵トナシ薄暮マテハ「ガンチエル」ノ附近ニ停止セシメ其
後之ヲ前哨本隊迄販還セシムヘシ

茲ニ又右ト全ク相異ナル方法アルヲ示サントス即チ
本隊ハ「ウステルハウゼン」ト「メツチエルチン」ノ中間ニ於
テ前衛本隊ハ「メツチエルチン」ノ西北ニ在ル「ラントウエ
ル」濠ノ近傍ニ於テ露營シ前哨ヲ以テ「ガルトウ」メツチエ

ルチン及ヒ、ロールラツケル濠ノ線ヲ占領セシムルヲ得
 ナリ或ハ又前哨ヲガソツエルマテ前進セシムルヲ得ヘ
 シ然ルキハ前衛本隊ハ概子メツチエルチントガソツエ
 ルノ中間ニ本隊ハメツチエルチンニ露營シ或ハ又全枝
 隊ヲメツチエルチン及ヒガルトウニ於テ村落露營ヲ爲
 サシメ此ノ兩露營ハ前方ニ配備シタル歩兵中隊及ヒ小
 哨ヲシテ警戒セシムルヲ得ヘシ要スルニ此ノ種々ノ
 方策ニ就キ最モ勉ムル所ハ敵ノ爲メニ妨害セラレ、
 ナクソハウステルハウゼンノ隘路ノ前方ニ於テ戦闘ヲ
 開始セントスルニアリ故ニ本隊ヲシテ再ヒウステルハ
 ウゼンニ退却セシムルカ如キハ不當ノ處置トナサ、ル

可ラス若シ本隊退却シ之ニ準シテ前衛及ヒ前哨共ニ退
 却シテ危険ヲ避ケ敵ノ不意ナル攻撃ヲ受クルニ當テハ
 本隊ハ速ニ前衛ヲ援助シドツセー河ノ隘路ニ近接シテ
 戦闘ヲ行フカ如キ事ナカラシムルヲ要ス
 枝隊司令官ハ最初ニ定メタル決心ニ基ツキ次ノ命令ヲ
 頒布ス

「メツチエルチン」ニ於テ千八百九十一年七月一日

枝隊命令

- 第一 各兵種連合ノ敵兵ハ「ノイルツピ」ヲ經テ前進
 シ其歩兵ハ「ウイルドベルヒ」ヲ占領シタリ
- 第二 枝隊ハ村落露營ヲナサントス

第三 從來ノ獨立騎兵ハ前哨騎兵トナリ「ガンチエル」附近ニ停止シ遠ク「マンケル」ノ方向ヲ搜索シ晩ニ至レハ前衛本隊ニ返還スヘシ

第四 前衛輕騎兵一小隊ヲ缺クハ「メツチエルチン」ニ村落露營ヲナシ「メツチエルチン」ト「ガンツエル」ノ中間ニ前哨ヲ配置シ「ロールレツケル」壕ヨリ「ラントーエール」壕ニ至ル間ヲ警戒スヘシ

第五 歩兵第二十聯隊第三大隊及ヒ前衛タリシ輕騎兵一小隊ハ「ガルトウ」ニ村落露營ヲナシ小ナル前哨枝隊ヲ以テ「リーゼルウイーゼン」ニ在ル藪林及ヒ「デツソウ」ニ通スル道路ヲ警戒スヘシ

第六 輕歩兵聯隊及ヒ本隊ノ砲兵二中隊ハ「ピツクウイッ」ニ村落露營ヲナシ外衛兵ヲ以テ「バルジユウ」及ヒ「ゼーゲレツツ」ノ方向ヲ警戒スヘシ

第七 師團架橋縱列及ヒ本隊ノ工兵ハ「ウステルハウゼン」ニ停止シ新ニ「ドツセー」河ニ數個ノ橋梁ヲ架設スヘシ

第八 大行李ハ暫時「ドツセー」河ノ西岸「ウステルハウゼン」ノ附近ニ停止スヘシ

第九 警報アルニ當テハ「ガルトウ」及ヒ「ピツクウイッ」露營司令官ハ余ノ舍營地「メツチエルチン」ニ命令受領者ヲ派遣スヘシ

第十 給與品ハ徵發スヘシ

第十一 今晚第八時「メツチエルチン」ニ於テ命令ヲ授

與ス

旅團長又少將(印)

此ノ命令ノ實施ヲ左ニ陳ヘントス

前哨騎兵ハ一小隊ヲ小哨トシテ「ガソツエル」村ノ北端ニ之ヲ配置シ此小哨ヨリ下士哨ヲ「ガルベルヒ」ニ出シ觀察セシメタリ、A騎兵大尉ハ五小隊ヲ以テ「ガソツエル」ノ南方ニ停止シ是ヨリ二個ノ獨立下士哨ヲ出シテ自ラ警戒シ一個ノ獨立下士哨ハ「ウイールドベルヒ」ニ通スル街道ニ一個ハ「ロートルラック」ノ方向ニ出シ其斥候ハ「ウワイセス、

ロス」及ヒ「ガルツ」ヲ經テ「マンケル」ノ方ニ進マシムルヲニ定メタリ

前衛司令官ハ歩兵第一大隊ヲ前哨ニ任シ此ノ大隊ノ二中隊ハ前哨本隊トナリテ「メツチエルチン」ノ東方出口ニ露營シ一ノ前哨中隊ハ「ガソツエル」ノ方ニ通スル街道ニ於テ小河ノ邊ニ他ノ前哨中隊ハ「メツチエルチン」ヨリ東方ニ通スル道路ニ位置セシメタリ、此ノ兩前哨中隊ハ夜間ニ至レハ小哨ヲシテ其前方ニ在ル地ヲ警戒セシムルモノトス前衛ニ残りタル騎兵小隊ノ斥候ハ前哨騎兵ノ退却シタル後チハ「メツチエルチン」「ウイールドベルヒ」及ヒ「ロートルラック」ノ方ニ行動スル者トス

歩兵第二十聯隊第三大隊ノ三中隊ハ「ガルトウ」ニ於テ露
營シ一中隊ハ東方ニ進メ夜間「リ」ゼルウイゼン」ニ在ル
藪林ニ一個ノ獨立下士哨ヲ「デツツウ」ニ通スル道路ニ一
個ノ小哨ヲ配置セリ「ガルトウ」ニ在ル騎兵小隊ノ斥候ハ
晝夜「デツソウ」ニ到リ而シテ「ピツクウイツ」ヨリ「バルヨウ」
及ヒ「ゼーゲレツツ」ニ通スル街道ニ各一個ノ外衛兵ヲ出
セリ次ニ又村落露營ニ關シテ述ヘシ

總テ軍隊ヲ掩蔽下ニ宿營セシムルヲ得ルカ如キ家屋充
分ナル場合ニ在テ村落舍營ト村落露營トノ區別ハ殆
ト無カルヘシト云フ疑問アリ然レモ村落舍營ヲ行フ時
ハ兵卒ヲ各家屋ニ分配シ茲ニ宿營セシメ兵卒ハ自由ニ

己ニ充テラレタル家屋ヲ去リ村落内ヲ逍遙シ唯其村落
ヲ離ル、トヲ得スシテ内衛兵及ヒ外衛兵ノミ常ニ戦闘
準備ヲ爲シ密集部隊ニ編成シ在ルノミ村落露營ニ在テ
ハ然ラス各部隊(歩兵大隊、中隊、小隊)ハ密集シテ宿營シ各
部隊ノ司令官ハ嚴密ナル規定ヲ設ケテ兵卒ヲシテ認可
ナク庭内若クハ家屋ヲ離ル、トヲ得セシメ且ツ絶ヘ
ス之レヲ監視ス何トナレハ司令官ハ是ヲ以テ村落舍營
ニ在ル時ヨリモ一層嚴重ナル戦闘準備ヲ行ハシメント
欲スル者ナレハナリ故ニ村落ヲ疎薄ニ占領スル時ハ警
急舍營ト村落露營ト全一ナリ若シ密接シテ占領スル村
落露營ナルハ純粹ナル露營ト警急舍營トヲ混同シタ

ルモノトス、比較的疎薄ニ占領シタル「メツチエルチン」及
 「ヒガルトウ」ハ兵卒警急舎營ニ在リ然レモ「ピツクウイツ」
 ハ軍隊ノ一部ヲシテ恐ラクハ露營セシメサルヘカラス、
 通常前哨本隊ト前衛本隊トハ互ニ若干ノ距離ヲ存スル
 者ナリト雖モ目下ノ狀況ニ在テハ前衛本隊ヲシテ前哨
 本隊ノ露營地ノ直後ニ村落露營ヲ爲サシムルモ敢テ危
 險ヲ感セサル可シ何トナレハ四個ノ前哨中隊ハ步兵第
 二大隊ノ四中隊ヲ警急舎營ヨリ招致スル間敵ニ對シテ
 確實ニ抵抗シ得ヘケレハナリ村落ノ西方部分ニ宿營ス
 ル砲兵中隊ト雖モ卸鞍セシムルヲ得ヘシ何トナレハ凡
 ヲ十分時間ニハ砲兵ハ再ヒ馬匹ニ裝鞍セシムルト容易

ナレハナリ、然レモ村落ノ近傍ニ於テ有利ナル砲兵陣地
 アリテ且ツ敵ノ攻撃ヲ恐ル、時ハ之ヲシテ薄暮マテ射
 撃地ニ停マラシムルヲ良トスト人若シ規則ニ拘泥シテ
 前衛本隊ヲ「メツチエルチン」ノ西端マテ退却セシメテ露
 營セハ前衛本隊ト前哨本隊トノ正式上ノ距離ハ之ヲ得
 タリトスルモ吾人ノ考フル所ニ據レハ此ノ正式上ノ距
 離ヲ得ルヨリモ寧ロ歩兵ノ半部ト砲兵二中隊ヲ「ピツク
 ウイツ」ニ販還セシムルト益アルカ如シ如此スルモハ村
 落露營ノ利益ヲ得且多分ノ休憩ヲ行ハシムルヲ得ヘシ
 若シ此ノ方法ヲ以テ危険ナリトスル人ハ前衛ヲ距ル
 遠カラス「ウエステルハウゼン」ヨリ「メツチエルチン」ニ通

スル道路ノ南側ニテ「メツチエルチン」ノ西北千二百米突
ノ距離ニ露營スヘシ
敵ノ攻撃ヲ受ケタル場合ニ於ケル前衛ノ動作ニ關シテ
ハ枝隊命令中之レヲ記載セス何トナレハ枝隊司令官ハ
前衛ニ在ルヲ以テ自ガラ之カ動作ヲ部署シ得レハナリ
假令之レカ動作ヲ豫定スト雖モ敵若シ我カ推察ニ反シ
タル攻撃法ヲ探ル時ハ乃チ此ノ豫定ハ水泡ニ屬ス時ト
シテ敵攻撃シ來リ其法拙劣ナルニ當テハ却テ之ヲ逆襲
スルヲ良トスルヲアリ蓋シ此攻撃ヲ豫メ命令シ得ルヲ
亦タ稀ナリ要スルニ攻撃ヲ行フト否トハ第一線ニ在ル
指揮官ノ獨斷ト判斷トニ一任スルヲ良トス西軍枝隊ノ

前衛司令官ハ聯隊長ナリ聯隊長ハ枝隊ノ任務攻撃ニ在
ルヲト前衛ノ背後半獨里ニ「ドツセ」河ノ障害物アルヲ
知ル故ニ枝隊司令官前衛ヲ去リテ「ピツクウイツ」ニ退却
スルニ當テハ前衛司令官ハ敵ノ攻撃シ來ルニ際シ探ル
ヘキ動作ニ關シ自ラ其動作ヲ研究スルハ最大必要ノ事
トス

○第一ヲ以テ示シタル戦況ニヨリ枝隊司令官ハ前日ノ
正午敵ハ「ヘルツベルヒ」ニ到着シタルヲ了知セリ彼レ
七月一日該地ヲ出發スルモノト假定スルモ「ウエルド
ベルヒ」ニ至ル三獨里半ヲ行進セサルヲ以テ即チ七月一
日ノ午後ニハ彼レ攻撃シ來ルコトナカルヘシ然レモ亦戰

況ニ從ヒ敵ハ前日ノ晚既ニ「アルトルツピン」ニ進入シタルモノト假定スルヲ得可シ何トナレハ「アルトルツピン」ニ至ル連絡ヲ失ヒタルヲ以テ詳細ノ事情ヲ知ルヲ能ハサレハナリ然ル時ハ敵ハ僅ニ二獨里ヲ行進シテ「ウイールド、ベルヒ」ニ到着スヘキカ故ニ七月一日ノ午後ニハ彼レ攻撃シ來ルヲ難キニアラス、西軍枝隊ハ彼レ敵ハ如何ナル任務ヲ有スルヤ又彼レ敵ハ西軍枝隊ニ關シ如何ナル情報ヲ得タルヤ知ル可ラス例令ヘハ敵兵最初其微弱ナル兵力ヲ出シテ西軍枝隊ニ對セシメ更ニ到着スヘキ増加兵ノ來ルヲ俟ツ者ニシテ彼午前「アルトルツピン」ヲ發シ午後西軍枝隊ノ援隊未タ到着セサルニ先チ之レヲ攻

撃シテ「ドツセー」河後ニ排斥セント欲スル者ナリト想定スルキハ西軍枝隊ハ七月一日ノ午後敵ノ攻撃ニ對シテ準備ヲ爲シ置カサルヘカラス
若シ七月一日ヲ以テ温暖ニシテ乾燥シタル天候ト假定セス強雨連降スル天候トセハ△騎兵大尉ハ恐クハ敵騎ノ「ダーベルゴツツ」ヨリ前進スルヲ觀察スルヲ能ハサルヘシ、西軍枝隊ハ敵ノ動作ニ關シ知ルヲ決シテ明確ナラシ敵兵モ亦タ七月一日ノ午後ニハ攻撃シ來ルヲ殆ント無ルヘシ敵ニシテ若シ西軍枝隊ノ援隊ノ到着セサルニ先チ攻撃スルヲ目的トスルカ如キモノニアラサル以上ハ殊ニ然リトス—軍隊若シ雨ノ爲メ膚ヲ濡スカ如キ

時ニ在テハ疾病ヲ豫防スル爲メ衣服ヲ乾燥セシメテ務ムヘシ故ニ雨天ノ時ハ敵ノ攻撃ヲ憂フルヲ寧ロ少クシテ露營スヘキ軍隊モ之ヲ警急舎營ニ入ラシムルヲ得蓋シ吾人カ平時ノ演習ニ於テ時トシテハ炎熱ヲ冒シテ行進シ時トシテハ風雨ニ暴ラサレテ運動シ或ハ露營シ以テ兵卒ヲシテ備ニ艱苦ヲ嘗メシムル所以ノ者ハ畢竟其身体ヲ鍛練シ實戰ノ情況ニ慣レシメシメカ爲メナリ實戰ニ在テハ然ラス軍隊ヲシテ成ル可ク艱苦ヲ避ケシメ其体力ヲ節用ス可シ是レ必要ナル時機ニ臨ンテ充分ナル威力ヲ顯ハサンカ爲メナリ抑モ終夜霜露ニ暴サレテ宿營ニ加フルニ暖食シタルヲナキ軍隊ハ夜間掩蔽下ニ宿

營シタル軍隊ヨリモ疲勞ノ覺ユルハ免レサル所トス前顯ノ場合ニ於テ強雨連降スルモハ前哨本隊ハ之ヲメツチエルチンニ於テ警急舎營ヲ爲サシムルヲ良トス而シテ前哨騎兵本隊ハ「ガソツエル」ノ南方出口ニ於テ開放シタル小舎ニ宿リ以テ雨ヲ凌カシムヘシ若シ七月一日ニ換ユルニ一月一日ト假定スル時ハ軍隊ハ午前第八時頃出發シテ薄暮前上ニ示シタル地ニ到着スルナラン如此時季ニ在テハ敵ハ攻撃シ來ルヲナキヲ以テ前哨ハ最初ヨリ夜間ノ位置ヲ取り天候惡シキ時ハ警急舎營ニ入ルヘシ

B 第一戰況ニ示スカ如ク西軍枝隊ヲシテ敵國ニ在ルモ

ノト假定スル時ハ敵ノ首力ハ前晚如何ナル所ニアルヤ
 確實ナル報告ヲ得ル能ハサルヘシ即チ敵ハ「ベルツベル
 ヒ」ニ在ルヤ或ハ「アルトルツピン」或ハ「ノイ、ルツピン」ニ在
 ルヤ知ル能ハス故ニ「ウイルトベルヒ」ニ到着シタル敵ハ
 此日何レノ方向ヨリ來リシヤ判定スルヲ能ハサルヲ以
 テ益、敵ノ攻撃ニ備フルヲ嚴ナラサル可ラス即チ本隊ハ
 晚ニ至ルマテ「メツチエルチン」ニ在テ戦闘ノ準備ヲ爲シ
 其後「ロールラツケル」濠ト「ガルトウ」ヨリ「デツソウ」ニ通ス
 ル道路トノ中間ニ前哨ヲ配備シ此掩護ヨリ其地ニ露營
 セサル可ラス此場合ニ在テハ前衛及ヒ前哨ハ雨天ト雖
 且露營ヲ止メ宿營スルヲ難シ之ニ反シテ冬季特ニ降雨

或ハ降雪ノ時ニ當リテハ枝隊ハ危険ヲ感スルヲ僅少ナ
 リ何トナレハ枝隊ハ出發時間ノ遅キカ爲メ薄暮ニ及ン
 テ始メテ「メツチエルチン」ニ達シ得レハナリ此時ニ在テ
 ハ枝隊ハ強大ナル外衛兵及ヒ騎兵斥候ノ保護ヲ受ケテ
 「メツチエルチン」「ガルトウ」及ヒ「ビユツクウイツ」ニ於テ警
 急舎營ヲ爲シ得ヘシ

第二、枝隊ハ翌日西方ニ退却セント欲スル時

A 第一戰况

西軍枝隊ハ自國ニ於テ七月一日ノ朝「ウイルドベルヒ」ヲ
 發シテ「ノイ、ルツピン」ニ前進中「ダーベルゴツツ」附近ニ於
 テ前進中ノ敵ト衝突シ四時間ノ戦闘ヲ交ヘタル後「ウス

テルハウゼンニ退却セサルヘカラサルニ至レリ因テ西
軍枝隊ハ左ノ軍隊區分ヲ以テ退却セリ

本隊

歩兵第二十聯隊

歩兵第三十五聯隊第一大隊

砲兵第一第二中隊

工兵中隊

師團架橋輜重

後衛 C 大佐

歩兵第三十五聯隊第二第三大隊

輕騎兵第一第二中隊(本隊ニ屬スル傳騎ヲ缺ク)

午後第四時頃本隊ハ「ウステルハウゼン」ノ東方入口ニ、後
衛ハ「メツチエルチン」ニ各達着シタリ而シテ大行李ハ「クレ
ンボウエル」水車ニ集合シテ停止ス、此ノ時枝隊司令官「ウ
ステルハウゼン」ノ附近ニ於テ報告ヲ受領シタリ曰ク敵
ハ「ウネルドベルヒ」以外ニハ只其騎兵斥候ヲ繼テ我軍ヲ
追跡セルノミト

枝隊司令官ハ七月二日敵ニ抵抗セズ「キーリツツ」ニ退却

セント欲ス

天候

此日温暖ニシテ乾燥シタル天候ナリ

問題

七月一日ノ夜ニ於ケル枝隊司令官ノ部署—警戒法

説明

西軍枝隊ハ七月一日ニハ午後第四時迄行進シ三乃至三
獨里半ノ里程ヲ過キ而シテ敵ト四時間ノ戦闘ヲ交ヘタ
ル後敵ハ後衛ヲ去ルコト四分ノ三獨里ニ於テ停止シタリ、
今ヤ西軍枝隊ハ停止スヘキ歟或ハ尙ホ續テ退却行進ヲ
爲スヘキ歟ヲ考究セサルヘカラス第一法ヲ採用シ西軍
停止スル所ハ疲勞シタル兵卒ヲシテ直ニ宿營セシムル
ヲ得即チ本隊ハ「ウステルハウゼン」ニ後衛ハ「メツチエル
チン」ニ休憩セシムルヲ得然レモ枝隊ハ敵ト觸接ヲ避ケ
特ニ後衛ヲシテ危険ヲ蒙ムルコトナク「ウステルハウゼン」

ノ隘路ヲ通過セシメント欲セハ翌朝太夕早ク發進セザ
ルヘカラス而シテ若シ第二法ニヨリ行進ヲ持續シ本隊ヲ
「ハイノリヒスフエルデ」マテ後衛ヲ「ケレンボウエル」水車
マテ前哨ヲ「ウステルハウゼン」マテ退却セシムル所ハ敵
ヲ距ル遠クシテ軍隊ハ敵ノ不意攻撃ニ對シ之レヲ警戒
スルコト充分ニシテ且ツ翌日早ク發進スルヲ要セス然レ
モ此方法ハ軍隊ヲシテ一層疲勞ノ度ヲ増サシメ且ツ大
村落ノ缺乏スルヲ以テ第一法ニ比スル所ハ其宿舍甚々
不便ナリ

「ウステルハウゼン」ヨリ「ハイノリヒスフエルデ」ニ至ルノ
距離僅カニ半獨里ニ過キス、且ツ當日ノ天候ハ温暖ニシ

テ日脚猶長キヲ以テ余ハ續イテ「ハインリヒスフェルデ」迄退却スルヲ良トスヘシ然レモ枝隊ハ暫時間ノ休止ヲ爲シ錯亂シタル軍隊ヲ整頓シ且ツ本隊ノ大行李ヲシテ「ハインリヒスフェルデ」ニ行進セシメサル可ラス、枝隊司令官ハ此ノ休止ヲ利用シ次ノ枝隊命令ヲ下スヘシ

「ウステルハウゼン」ノ東方ニ於テ千八百九十一年七月五日午後第四時十五分

枝隊命令

- 第一、敵ハ「ウイルドベルヒ」以外ハ單ニ騎兵斥候ヲ出シテ追跡セルノミ
- 第二、本隊ハ「ハインリヒスフェルデ」ニ後衛ハ「クレン

ボウエル」水車ニ到リ共ニ露營シ前哨ハ「ウステルハウゼン」ヲ占領スヘシ

- 第三、本隊ノ給與品ハ携帶口糧ヨリ採リ後衛ハ之レヲ徵發スヘシ
- 第四、余ハ「ハインリヒスフェルデ」ニ於テ舍營ス

旅團長 X 少將(印)

此ノ命令中翌日ニ關スル命令ノ受領法ヲ述ヘス何トナレハ枝隊司令官ハ翌日ハ單ニ出發時限ヲ命スルヲ以テ足レリトシ本隊ニ於テハ之ヲ露營司令官ニ告示シ後衛ニ指示スルニハ後衛ヨリ此日尙敵ニ關スル報告及ヒ其他ノ通報(即チ兵員ノ減殺及ヒ彈藥ノ浪費ニ關スル)ヲ持

チ來ルヘキ傳騎ヲ利用シ傳フルトシタレハナリ
今ヤ左ニ警戒法ニ關シテ述ヘント欲ス

「ウステルハウゼン」ハ橋梁ニヨルニアラサレハ渡過シ得
ヘカラサル「ドツセー」河ニ圍繞セラレ東方南方及西北ノ
三方向ヨリ茲ニ入ルヲ得ヘシ此三方向ニ在ル各橋梁ノ
各兵種共ニ通過シ得（西北方ニ在ル橋梁ハ三個トナル）其
他ニハ徒歩橋一個アルノミ西軍枝隊ハ東方及ヒ南方出
口ヲ占領スレハ以テ敵ノ直接侵入ヲ閉塞シ得ヘシ然ル
時ハ西軍枝隊ノ狀況ヲ監察センカ爲メ敵ハ唯「ノイ、スタ
ツト」ノ方向ヨリ侵入スルヲ得ルノミ何トナレハ「ウステ
ルハウゼン」及ヒ「ノイ、スタツト」ノ中間ニテ牧場ニ在ル橋

梁ハ騎兵之レヲ渡過スルヲ能ハサレハナリ

故ニ西軍枝隊ハ「ウステル」ハ「マゼン」ヲ警戒スル爲ニハ多
クトモ歩兵ニ中隊ヲ以テ足レリトスヘシ但シ中隊ハ
市ノ中央ニ位置シ警急舎營ヲ爲スヘシ而シテ此ノ中隊等
ハ小哨及獨立下士哨ヲ配置シ即チ小哨ヲ東方及ヒ南方
ニ在ル本道ナル橋梁ニ獨立下士哨ヲ其近傍ニ在ル徒歩
橋ニ配置スヘシ、東方ニ在ル橋梁及ヒ南方ニ在ル徒歩橋
ハ之レヲ閉塞シ南方ニ在ル本道ノ橋梁ハ前方ニ派遣ス
ル騎兵斥候ノ爲メ開放シ置カサルヘカラス、是等三個ノ
橋梁ハ縱令最早之ヲ利用スルノ機ナシトスルモ之レヲ
破壊スヘカラス單ニ閉塞スルヲ以テ足レリトス自國ニ

在ル片ハ殊ニ然リ「ウステルハウゼン」ヨリ前方ノ地ニ
 派遣スヘキ斥候ハ輕騎兵一小隊ニテ足レリトス故ニ前
 哨勤務ノ爲メニ後衛ヨリ歩兵二中隊及ヒ輕騎兵一小隊
 ヲ出スヲ以テ充分ナリトス

「ノイスタット」橋梁ヲ監視スル爲メニハ「クレンポリエル」
 水車ニ在ル後衛本隊ヨリ斥候ヲ派遣スヘシ此ノ如キ一
 定ノ斥候ハ代ユルニ獨立下士哨ヲ以テ該所ニ停止セシ
 ムルヲ得ヘシ

後衛本隊ハ枝隊命令ヲ以テ「クレンポリエル」水車ニ露營
 スヘキ事ヲ指示セラレタリ然レモ後衛司令官ハ敵若シ
 終夜運動タルトナク從テ後衛ヲシテ警急集合ヲ爲サシ

ムルノ必要ナシト認ムルキハ其一部分即チ騎兵ノ如キ
 ハ其近傍ニ在ル農廬ニ宿營セシメ「クレンポリエル」水車
 ノ露營ヲ警戒スルカ爲メニハ「ノイスタット」ノ方ニ一外
 衛兵ヲ配備シテ充分ナリトス

本隊ハ「ハインリヒスフェルデ」ノ近傍ニ露營スル爲メ「ス
 タット」森ヲ利用セハ充分ナル休憩ヲ得ヘシ

今若シ七月一日ヲ溫暖ナル日トセシテ炎熱如烘候ト
 假定スル時ハ軍隊ハ甚タ疲勞スヘキヲ以テ午後第四時
 ニ至ルモ恐クハ露營地ニ到着スル能ハス加之日射病ヲ
 疾ムモノアルヘシ然ル時ハ「ウステルハウゼン」ヨリ「ハイ
 ンリヒスフェルデ」ニ至ル行進ハ其距離遠カラスト雖モ

實驗ニ徴スルニ此如退却ハ危険ナキニアラス故ニ余ハ
 如此場合ニ在テハ本隊ヲ「ハイノリヒスフェルデ」迄退却
 セシメス然レモ亦後衛ヲ「メツチホルチン」ノ附近ニ停止
 セシメス何トカレハ非常ニ疲勞シ且ツ敵ノ爲メニ撃破
 セラレタル軍隊ヲ敵ノ近傍ニ置クハ危険チレハナリ、枝
 隊司令官ハ全隊ノ停止ヲ命ジ飲水ノ携帶ヲ令シタル後
 チ左ノ枝隊命令ヲ下サントス

「ウステルバ」カゼン「ノ東方ニ於テ千八百九十一年
 七月一日午後第四時十五分

枝隊命令

第一、敵ハ「ゲイルド」ヘルヒ以外ニハ只騎兵斥候ヲ出

シテ退却セルノミ

第二、枝隊ハ「ウステルハウゼン」ノ附近ニ於テ夜ヲ徹
 セントス

第三、後衛ハ「ウステルハウゼン」ニ於テ宿營シ前哨線
 ハ「ウステルハウゼン」ヨリ「ビエツクウイツ」ニ通
 スル街道ヨリ「ガルツ」ヨリ「フルン」ニ通スル街道
 ニ至ル間境界濠ニ沿フテ之ヲ設ケ後衛ノ全車
 輛(砲門モ共ニ)ハ「クレンボウエル」水車ノ近傍ニ
 在ル「ドツセ」河橋梁ノ彼岸ニ於テ車陣ヲ作ル
 ヘシ

第四、本隊ハ「ドツセ」河ノ背後即チ「クレンボウエル」

水車ノ南方ニ於テ露營ヲ布設シ「ノイスタット」ノ方向ヲ警戒スヘシ

後衛ハ本隊ニ輕騎兵一小隊ヲ送ルヘシ

第五、大行李ハ暫時「ケレンボウエル」水車ノ近傍ニ停止スヘシ余ハ夜間之レヲ「キーリツツ」ノ方ニ行進セシメント欲ス

第六、前哨ノ糧秣ハ「ガルツ」ニ於テ徵發シ後衛本隊及ヒ本隊ノ糧秣ハ各徵發司令ヨリ「ウステルハウゼン」ノ市場ニ在ル歩兵第二十聯隊ノ少佐ニ請求ス可シ

第七、余ハ「ウステルハウゼン」ノ市場ニ於テ舍營ス

旅團長X少將

此ノ命令ニ關シ左ノ注意ヲ加フ、

茲ニ後衛本隊ハ宿營シ本隊ハ露營スルカ如キ特別ナル場合ヲ生セリ是レ畢竟地區ノ然ラシムル所トス即「ウエステルハウゼン」ハ周圍ヲ繞流スル「ドツセ」河ノ爲メ安全ニ駐在シ得ルト雖モ本隊ハ如此ク安全ナル能ハスモテ露營シタル所以ナリ

前衛司令官若クハ後衛司令官ニ精密ニ前哨線ヲ指示スルハ通常必要ナラスト雖モ前條ノ如ク種々ノ手段アル場合ニ於テ枝隊司令官其意企ヲ示サント欲スルモ亦無益ノ事ニアラサルヘシ

夜間警報アルニ當リ街道ノ閉塞ヲ避ケンカ爲メ全車輛
 (砲車モ共ニ)ヲウステルハウゼンヨリドツセ「河ノ背後
 へテ退却セシムル」必要ナルモノ、如シ、枝隊ハ砲兵中
 隊ヲ本隊ニ屬セシメタルカ故ニ同シク露營セシメサル
 可ラス而シテ枝隊ハ翌日ノ爲メ軍隊區分ヲ變換スルハ不
 得已シ場合トナレリ本隊ニ分屬シタル輕騎兵小隊ハ本
 隊ニ在テ夜間ノイ、スタツトノ方向ヲ監視セシムル「必
 要ナリ又此ノ監視兵ヲ出不責任者ヲ定ムル」必要ナリ
 何トナレハ此ヲ定ムル「オキ」ハ本隊司令官ヨリ監視
 兵ヲ出スヘキカ或ハ之レヲ後衛司令官ヨリ出スヘキカ
 疑ナキ能ハサレハナリ又命令中大行李ハ夜間出發スヘ

キ「」ヲ記載シタ「」是レ軍隊及大行李ヲシテ豫メ其ノ準
 備ヲ爲サシメ「」爲メナリ此ハ理由アルヲ以テ行李ハ
 軍隊ノ近傍ニ於テ停止セシメタリ
 本隊及ヒ後衛本隊ハ「」ステルハウゼンニ於テ給與品ヲ
 受クヘキ告示ヲ受ケタリト雖モ尙精密ナル方法ヲ定メ
 サルヘカ「」
 又次ニ主トシテ目下ノ狀況ニ應用スヘキ警戒法ヲ述ヘ
 ントス
 後衛司令官ハ「」ステルハウゼンノ東方ニ於ケル警戒ノ
 爲メ歩兵一大隊及輕騎兵一乃至二小隊ヲ派遣シ前哨本
 隊ハ「」ガ「」ノ東方ニ置キテ二個ノ前哨中隊ヲ前方ニ出

シ其一中隊ヲ「メツチエルチン」ニ通スル道路ノ南側ニ他
 ノ一中隊ヲ「カルトウ」ニ通スル道路ト「ブルン」ニ通スル道
 路ノ中間ニ位置セシムルヲ得可シ此二中隊ハ各夜間ニ
 ハ一小哨ト二獨立下士哨トヲ以テ警戒シ前哨騎兵ハ薄
 暮迄「メツチエルチン」ノ附近ニ停止シ獨立下士哨ヲ前方
 ニ出シ而メ後此前哨騎兵ハ夜間前哨本隊或ハ前哨中隊
 ニ返還シ斥候勤務ニ任セザル可テス「ウステルハウゼン
 ヨリ」ピツクウイツ」ニ通スル街道ヲ警戒スル爲メニハ一
 ノ外衛兵ヲ以テ足レトス可シ枝隊ノ本隊ハ「ノイ、スタ
 ヲト」ノ方ニ一外衛兵ヲ要シ「ノイ、スタツト」ヲ監視スル爲
 メニハ騎兵斥候ヲ派遣スルカ或ハ「ノイ、スタツト」ニ停止
 スル騎兵獨立下士哨ヲ要ス

若シ七月一日ノ正午頃雨降り始メ午後第四時ニ至ルモ
 尙ホ止マズ兵卒ハ之カ爲メ其衣服悉濕ハシメタルモノ
 ト假定セハ司令官ハ其軍隊ノ不幸ナル戰鬥ニヨリ志氣
 ヲ沮喪スル幾何又其軍紀ヲ紊亂スル幾何ナルヤヲ考ヘ
 タル後尙其部下兵卒ヲ手裡ニ掌握スルヲ得ルト信ス
 ル片ハ後衛ヲ「メツチエルチン」及ヒ「カルトウ」ニ於テ警戒
 舍營ヲナシ外衛兵ヲシテ之レヲ警戒セシメ而シ本隊ハ
 「ウステルハウゼン」ニ宿營セシムルヲ得ヘシ然レモ此場
 合ニ在テハ翌朝早ク出發セサルヘカラス之レニ反シテ
 司令官ハ部下ノ兵卒ヲ掌握スルヲ難キヲ感スレハ「ハホ

ソリヒスフエルデニ退却該所ニ在ル森林ヲ利用シテ
 本隊ヲ露營セシムヘシ然ルキハ後衛ハウステルハウゼ
 ノニ退キ強大ナル衛兵ヲシテ之レヲ警戒セシムヘシ抑
 ヲ此ノ如キ天候ハ敵ヲシテ七月一日ノ夜施行セントス
 ル計畫アルモ之ヲ爲ス能ハサラシムルモノトス即ウイ
 ルドベルヒヨリ西軍枝隊ニ對シ不意攻撃ヲ行フノ度ヲ
 減スルモノトス

今若シ七月一日ヲ一月一日ト假定スル時ハ冬日ノ短キ
 午後第四時ニハ既ニ薄暮トナルヲ以テ撃破セラレタル
 枝隊ノ爲ニハ夏日ノ長キニ比シ寧ロ安全ナリト謂フ可
 シ他ノ一方ヨリ論スレハ亦タ冬日ニ在テハ村落舎營ヲ

爲スト益必要トナリ即チ冬季ニ於テハ非常ナル場合ニ
 アラサレハ露營スルトナカルヘシ冬季ノ天候甚タ惡シ
 クシテ撃破セラレタル軍隊其秩序ヲ維持スルキハ敵ニ
 接近シテ宿營スルヲ得ヘシト雖モ天候良好ニシテ全隊
 其秩序ヲ失フ時ハ遠ク退却シテ宿營セサル可ラス如此
 一月一日ト假定シタル目下ノ場合ニ於テハ種々ノ手段
 ヲ生ス殊ニ「ドツセ」ノ河水氷結シテ各種ノ軍隊之レヲ
 通過シ得ルニ於テハ此ヲ以テ障害物ト見做ス能ハサル
 ヲ以テ西軍枝隊ハ狀況ニヨリ「ドツセ」河ノ東方ニ在ル
 村落或ハ「ウステルハウゼン」及ヒ「ノイスタット」ノ兩市或
 ハ又「ブレニッツ」レツジ「及ヒ「ハインリヒフェルデ」ニ退

却シテ宿營シ外衛兵及ヒ斥候ノミニ依ツテ充分ニ警戒セサル可ラス

又西軍枝隊ハ敵國ニ在リテ土民ハ敵心ヲ抱テ不穩ノ舉動アリト假定スル時ハ枝隊ハ退却中堅固ニ村落ヲ占領セサル可ラス即チ露營スルカ或ハ密接シテ村落ヲ占領セサル可ラス此第二法ヲ採用スルキハ敵ノ切迫スル所トナリ村落ヲ撤去スル場合ニハ直チニ土民ヨリ攻撃ヲ受クルノ危険アリ千八百七十年及ヒ七十一年ノ戰役ニ於テ最後ノ一半ハ獨乙軍此危険ヲ冒スト多カリシトナシ抑敵ニ迫ラレテ敵村ヲ經テ退却行進ヲ行フ軍隊ハ特別ノ注意ヲ要スヘキ固ヨリ論ヲ待タサルナリ

敵國ニ在テ不幸ナル戰鬪後、メツチエルチンヨリ、ウスデールハウゼンニ擊退セラレタル西軍枝隊ハ土民敵心ヲ抱テ不穩ノ舉動ヲ行フニ當テハ左ノ場合ヲ顧慮スヘキモノトス、

第一、七月一日天候ハ温暖且ツ乾燥シ軍隊ハ疲勞ス

ト雖モ未タ其極度ニ達セサル時

此時ニ在テハ西軍枝隊ハ「ハイノリヒ、スフェル」ヲ迄退却シテ宿營シ恰モ一小枝隊ノ如ク本隊及ヒ前哨ニ分レテ休憩シ本隊及ヒ從來ノ後衛(但シ前哨勤務ニ服スル部隊ヲ除)ヲ以テ「ハイノリヒ」スフェル附近ニ陣シ前哨步兵一大隊騎

兵一中隊ヲ以テ、クレンボウエル水車ノ西北ニ陣シ、ウステルハウゼンハ之レヲ占領セス前哨線ハ「ドツセ」河ノ西方ノ岸ニ停止セシム

第二、七月一日天候ハ炎熱如烘ニシテ軍隊ハ大ニ疲勞セル時

此時ニ在テハ騎兵一中隊及ヒ後衛ノ砲兵中隊ヲ本隊ニ附屬セシメ此本隊ヲウステルハウゼンニ村落露營ヲ爲サシメ特別ナル警戒法ヲ用ヒテ不穩ナル土民ニ備フ可シ即チ歩兵二大隊及ヒ騎兵一中隊ヲ以テ其周圍ニ前哨ヲ配布シ其最前線ハ「ラントウエトル」濠ニ至ラシメ以テ

警戒セシム可シ而シテ總テ車輛ハ「ウステルハウゼン」ノ兩方「ドツセ」河ノ背後迄退却セシメサルヘカラス

第三、七月一日強雨頻リニ續クト雖モ軍隊ノ秩序紊亂セサル時

本隊ハ騎兵一中隊及ヒ後衛ノ砲兵中隊ヲ以テ増加セラレ「ウステルハウゼン」ニ宿營シ歩兵二大隊及ヒ騎兵一中隊ヲ前哨トシテ「ピツクウイ」ツ「メツチエルチン」及ヒ「ガルホウ」ニ配布シ尙外衛兵及ヒ斥候ヲ以テ警戒ス可シ

第四、七月一日強雨頻ニ續キ軍隊ノ秩序大ニ亂レタ

ル時

本隊ハ「ハイソリヒ、スヘエルテ」迄退却シ後衛ハ
「ウステルハウゼン」ニ於テ宿舎シ、外衛兵及ヒ斥
候ヲ以テ之レヲ警戒ス可シ

第五、一月一日ナル時

枝隊ノ秩序益乱レ天候益悪シキニ從ヒ從テ後
方ニ退テ宿營セサル可ラス故ニ枝隊ハ甲ノ場
合ニ於テハ「ウステルハウゼン」「ピツクワイツ」メ
ヲチユルチン「及ヒ「ガルトウ」ニ於テ宿營シ乙ノ
場合ニ於テハ只「ウステルハウゼン」及ヒ「ノイ、ス
タツト」ニ於テ宿營シ非常ナル場合ニ於テハ「ハ

イソリヒ、スフエルテ」「ピツクチン」及ヒ「ブレイニツ
ツ」ニ於テ宿舎スルシ總テ此ノ三個ノ場合ニ於
テハ外衛兵及ヒ斥候ノミヲ以テ警戒スヘシ

讀者ハ之ヲ讀ンテ天候ノ軍隊ノ動作ニ及ス所ノ關係過
大ナルヲ疑フ者アルヘシト雖モ抑實戰ニ於テ風雨ニ暴
露シテ軍隊ヲ露營セシムル害ノ大ナルコト豫想ノ外ニ
出ルモノアリ軍隊若シ之ヲ顧ミサルハ人員ノ減耗ヲ
生スル恐ルヘキモノアリ讀者試ニ千八百七十一年ノ獨
佛ノ戰役ニ於テ強雨續降シテ寒氣酷烈ナルニ當リ連日
露營シタル獨乙軍隊ノ疾病ニ罹リタル狀況ヲ見ヨ當時
軍隊ノ疾病ニ罹リタル人員ハ百分ノ五十二達シタリ、各

軍隊ハ「チブス」病及ヒ熱病等ノ爲メニ兵員ヲ失ヒ其數殆
 シト平時ノ定員ニ減少セリ、是レカ爲メ平時ニ於テ風雨
 ノ時演習シ露營シ以テ天候ニ慣レシムルヲ最モ必要ナ
 ルヲ覺フ是レ軍隊ハ艱苦缺亡ニ堪ヘ如何ナル天候ト雖
 モ露營ニ慣レシムルヲ必要ナレハナリ蓋シ戰時ニ在テ
 ハ特ニ注意セテ艱苦缺乏ヲ避クルト雖モ情況之ヲ避ク
 ルヲ能ハスシテ却テ其極點ニ達スルヲアリ
 抑前哨ヲ露營セシムルハ幼年士官ノ常ニ採用スル所ナ
 リト雖モ前哨ハ多クノ場合ニ於テ舍營スルヲ得ヘシ又
 原野ニ在ル歩兵小哨ハ敵ノ不意攻撃ニ對シテ安全ナリ
 トシ或ハ如此地ニ在ル歩兵小哨ハ風雨ヲ防クヘキ村端

ニ在ル者ヨリモ大ニ抵抗力ヲ有スヘシト思考スルモノ
 アリト雖モ是レ誤謬ナリ、抑戰鬪中敵ニ對シテ抵抗力ヲ
 得ント欲セハ須ク村落ニ賴ラサル可ラス何ノ理由ア
 リテ前哨配布ノ爲メ村落ヲ避クルヤ、蓋シ原野ニ在ル
 小哨ヲ攻撃スルハ村落入口ニ在ル小哨ヲ攻撃シ且ツ之
 レヲ擊退スルヨリモ寧ロ容易ナリ
 故ニ戰爭中大團隊ヲ以テ露營スヘキ一般ノ場合ヲ枚舉
 スレハ左ノ如シ

第一、舍營スルノ時機アラサル時

第二、敵ニ直接シ在リテ常ニ敵ノ攻撃ヲ受クルノ憂

アル時

第三、軍隊ノ軍紀非常ニ錯乱シテ敵ノ近傍ニ駐止スル時

第四、敵國ニ在テ微弱ナル兵力ヲ有シ必要ナル地點ヲ占領シテ敵ノ土民ニ對スル時

第三

枝隊ハ翌日「ウステルハウゼン」ニ停止シテ敵ノ攻撃ヲ待テ而シテ其攻撃ヲ撃退スルヤ直チニ攻勢ニ移ラントスル時

A 第三戰況

兩軍枝隊(自國ニ於テ)ハ「ウステルハウゼン」ノ西方約三獨里ニシテ「ハーフェルベルヒ」ノ東北方ニ在ル村落ニ駐營

シ在リシカ敵ノ混成旅團東方ヨリ來リテ「レーウエンベルヒ」ニ向ヒ行進スルノ報告ニ接シ敵「ドムセ」河ヲ越ユルヲ妨害スヘキ任務ヲ受ケ六月三十日「ノイスタット」ヨリ「ウステルハウゼン」ニ亘ル線マテ進入セリ此時尙「ノイ、ルツピン」及ヒ「ダムクルトク」ニ至ル電信相通スルヲ以テ枝隊ハ今日ニ至ルマテ敵ヲ見サリシコトノ通報ヲ得タリ而シテ六月三十日ノ正午頃軍隊ハ次ノ如ク舍營セリ

旅團司令部

步兵第二十聯隊第一第二大隊

輕騎兵第一中隊

砲兵第一中隊

「ウステルハウゼン」及「ガルツ」クレンボ「ハーフェル」水車ニ於テ

工兵半中隊

步兵第二十聯隊第三大隊

「アレトニツツ」ニ於テ

步兵第三十五聯隊第一第二大隊

輕騎兵第二中隊

「ノイスタット」及二

砲兵第二第三中隊

個ノ牧馬場ニ於テ

工兵半中隊

步兵第三十五聯隊第三大隊

「チエルニツツ」ニ於テ

師團架橋輜重

「ハインリヒスフェル
テ」ニ於テ

七月一日ノ午前第七時頃「アルト、ルツピン」ノ電信局ヨリ
敵ノ騎兵該所ニ進入シタル報告來リ同第八時頃ニ至リ
「ノイ、ルツピン」ノ電信局ハ通信ヲ中止シタリ是ヲ以テ枝

隊司令官ハ騎兵二中隊ヲ搜索ノ爲メ前方ニ派遣シ步兵
第二十聯隊第三大隊ヲ「ウスタル」ハウゼン」ニ步兵第三十
五聯隊第三大隊ヲ「ノイ、スタット」ニ招致シテ各軍隊ニ行
進ノ準備ヲ爲サシメ又其後西軍枝隊ノ騎兵ハ敵ノ騎兵
斥候ト「ウイールドベルヒ」ニ於テ衝突シテ之ヲ撃退シ且ツ
敵ノ強大ナル騎兵ハ正午第十二時頃「ダーベルゴツツ」ニ
進入シタルヲ確報セリ又此騎兵ヨリ枝隊司令官ハ午後
第三時頃「ウイールドベルヒ」ヨリ發シタル報告ヲ受領セリ
曰ク騎兵ハ茲ニ敵ヲ監視シツ、停止シテ次ノ命令ヲ待
ツト、枝隊司令官ハ此ノ出來事ヲ「ハトフェルベルヒ」ニ電
報シタル後午後第五時ニ至リ「ハトフェルベルヒ」ヨリ命

令ヲ受領セリ曰ク七月一日ニ「ドツセー」河ヲ越ヘテ前進
シ七月二日ノ朝「ハーフェルベルヒ」ヨリ鎮道ニ乗シテ午
前第七時ト第九時ノ間ニ「ノイ、スタット」ノ停車場ニ到着
スヘキ歩兵第二十聯隊ト相合シテ敵ヲ攻撃スヘシト

天候

此日温暖ニシテ乾燥シタル夏天ナリ

問題

七月一日ノ夜ニ於ケル枝隊司令官ノ部署ト警戒法

説明

西軍枝隊ハ六月三十日敵ノ混成旅團「レトウエンベルヒ」
ニ向テ行進シ其強大ナル騎兵ハ七月一日ノ正後頃「ター

ベルゴツツ」ニ進入シタルヲ知ル而シテ此ノ騎兵ニハ他ノ
軍隊跟随シ來ルヤ即チ他ノ軍隊「クレンツリ」
「ノイ、ルツヒン」ニ來リシヤ否之ヲ知ルヨ能ハサリシ今敵
情ニ就テ熟考スルニ彼ノ首ヲハ尙未タ遠ク後方ニ在ル
者ト假定セサルヘカラス然ラバ則チ西軍枝隊ハ援隊ノ
到着スル前ニ受ケタル任務ヲ盡スノ必要ナク却テ援隊
ノ來ルヲ待テ共ニ前進スルノ良キニ若カズ故ニ西軍枝
隊ハ到着スヘキ援隊ト合シテ敵ノ攻撃ニ對スルノ策ヲ
採リ兼テ此援隊ノ到着ヲ待テ得ヘキ防禦陣地ヲ講セサ
ルヘカラス此ノ陣地ハ「ノイ、スタット」ノ停車場ニ接近ス
ルニ從ヒ敵ノ來ルト益々逼ク而シテ援隊ノ到着スル益々早ク

シテ即チ西軍枝隊ハ攻勢ニ轉スル以前敵ニ對シテ防勢ヲ取ルヘキ時間ヲ短縮ス之レニ反シ陣地ヲ進メテ敵ニ近接スルルハ敵ノ來ルコ益早く而シテ援隊ノ到着益遅ク即チ永ク援隊ヲ缺キテ敵ヲ防禦セサル可ラス狀況如此ナルヲ以テ西軍枝隊ハ「ノイ、スタット」停車場ニ接近シタル陣地ヲ占ムルヲ以テ利アリト爲ス而シテ此停車場ニ接近シタル陣地ハ「ロトルラツケル」濠ノ西南ニ於ル「ピツクウイツ」附近ニアリ蓋シ此陣地ハ「ノイ、スタット」ノ停車場ヲ距ルコト三千米突ニシテ「ピツクウイツ」ノ周圍ニ戰鬪起ルト雖モ下車スル軍隊ヲシテ危險ヲ蒙ムヲシムルコトナシ但シ此場合ニ在テハ敵騎ニ對シテ歩兵一小枝隊ヲ

「ノイ、スタット」ノ停車場ニ殘置セサル可ラス今敵ノ歩兵ハ「ベヒルン」ニ前進シ在リテ午前第五時(最モ早キ時刻ナリ)ニ該所ヨリ前進スルモノト假定スル時ハ早クモ三時間半ノ後即チ午前第八時三十分頃ニ至ラサレハ彼レ我陣地ニ對シ戰鬪ヲ開始セサルヘシ然ルニ西軍枝隊ノ援隊ハ午前第七時ヨリ第九時迄ノ間ニ到着スヘク即チ歩兵大隊ハ午前第七時ニ一大隊ハ第八時ニ一大隊ハ第九時ニ到着スヘシ今此各大隊ヲ下車セシムル爲メ各半時間ヲ要シ且ツ此ノ大隊等「ピツクウイツ」ニ到ルニ四十五分ヲ要スルモノトセハ一大隊ハ午前第八時十五分ニ一大隊ハ第九時十五分ニ一大隊ハ第十時十五分ニ「ピツク

ウイツニ到着スルヲ以テ西軍枝隊ハ約二時間ノ後ハ防
 勢ヨリ攻勢ニ轉スルヲ得然リビツクウイツ附近ノ地形
 ノ殊ニ防禦ノ爲メ利トスル所ハ左側ハビツクウイツ湖
 ノ爲メ充分安全ニシテ正面ニハ「ロールラツケル」濠ノ障
 害物アリ此濠ハ橋梁ニアラサラハ渡過スル能ハスシテ
 其兩岸ニハ水田アリ最モ有効ナル射撃ヲ注キ得可シ之
 ニ反シ右翼ハ總テ開濶スルヲ以テ敵ハ之ヨリ攻撃シテ
 同時ニ「ノイスタット」ノ停車場ニ迫リ得ルト雖モ茲ニ達
 センニハ「バルジ」ヲ經テ迂回セサルヘカラス若シ敵
 ノ此ノ迂回ヲ爲ス時今午前第九時始テ「バルジ」コウニ來
 ルノ算ナラ然ルニ此ノ時頃ニハ西軍枝隊ハ援隊「ノイ、ス

タウト」ノ停車場ニ到着スルヲ以テ西軍枝隊ノ小ナル歩
 兵枝隊敵ノ騎兵ニ對シテ該停車場ヲ警戒スル限リハ此
 ノ下車決シテ危険ナルコトナルヘシ最後ニ到着スル歩
 兵大隊ト雖モ危険ナク「ビツクウイツ」ニ來リ合スルヲ得
 ヘシ殊ニ敵「バルジ」コウヲ經テ迂回スルカ如キハ豫メ之
 ヲ期スルコト能ハス多分ハ「メツチエル」ニ通スル大街
 道上ニ停止シテ該所ヨリ攻撃シ來ルモノトセサル可ラ
 ス何トナレハ敵ハ豫メ西軍枝隊ノ陣地ヲ知ルコト能ハサ
 ルノミナラス尙ホ且ツ地形ヲ知ラサレハナリ然レモ此
 陣地ハ如此キ攻撃ヲ防禦スルニ利アリト雖モ陣地ヨリ
 出テ、攻勢ニ轉スルコト不利ナリ何トナレハ此ノ陣地ヨ

リ攻勢ニ轉セシニハ「ロール」ヲツケル濠ヲ渡過セサル可
 ラス之カ爲メ或ハ豫メ是レニ橋梁ヲ架設スルノ要アリ
 而シテ此橋梁ハ却テ敵ノ攻撃ヲ助クルノ嫌ヒアリ又攻撃
 ヲ行フ前敵ノ目前ニ於テ橋梁ヲ架設スル時ハ大ニ損害
 ヲ蒙ムルヘシ「ピックウイツ」ノ陣地如此不利アリトスル
 片ハ亦タ更ニ進ンテ前方ニ在ル陣地ヲ探究セサル可シ
 サル必要ヲ感ス可シ
 更ニ探究スヘキ第二ノ陣地ハ「メツチエル」村ヲ據點
 トシテ占ムヘキモノナリ然レモ此陣地ハ敵兵攻撃シ來
 ル時間ヲ從來ノ假定ニヨツテ算スレハ拂曉後三時間ノ
 後チ即チ午前第八時頃ニシテ枝隊ノ援隊「メツチエル」チ

「メ」到着スルハ午前第八時四十五分同第九時四十五分
 同第十時四十五分ナルカ故ニ西軍枝隊防勢ヨリ攻勢ニ
 移ラントスルニハ其間殆ト三時間ヲ要ス其他此陣地
 ハ不利ナルモノアリ即チ橋梁ニ非ザレハ渡過シ能ハサ
 ル「ロール」ヲツケル濠其直後ニ在リ加之退却線ハ正面ト
 直角ナラスシテ斜傾シ而シテ又「メツチエル」村落ハ敵
 方ニ短側面ヲ向クルヲ以テ抵抗力ヲ減殺ス如此キ原因
 アルヲ以テ此陣地ハ「ピックウイツ」ノ陣地ヨリモ不利ナ
 リトセサル可ラス但敵ノ攻撃ヲ撃退シタル後攻勢ニ轉
 スルノ利アリ
 地形上ヨリ考フル時ハ有利ナル陣地ハ「ガンツェル」ナリ

此ノ村落ハ敵ニ對シテ長側面ヲ向クルヲ以テ有利ナル據點トナリ而シテ此陣地ノ前方ハ敵開スルヲ以テ善良ナル射擊界ヲ有ス又其兩翼ハ「ラントウエール」濠及ヒ「ロトル」ラツケル「濠」ノ爲メ甚ダ堅固ナルノミナラス尙ホ直後ニ在ル地形ニ障害物ナキヲ以テ大ニ退却ニ便ナリトス然リト雖モ從來ノ假定ニ依レハ敵ハ此ノ陣地ヲ攻撃シ來ルハ拂曉後二時間半ニシテ西軍枝隊ノ援隊午前九時十五分十時十五分及ヒ十一時十五分頃ニ非サレハ此ノ陣地ニ到着セサルヲ以テ西軍枝隊ハ攻勢ニ移ル前ニ四時間ノ防禦戰闘ヲ行ナハサルベカラズ且ツ敵ノ兵力ハ混成旅團ニシテ西軍枝隊ノ兵力ヨリモ優勢ナルヲ明カナルヲ以テ西軍枝隊ハ援隊ノ到着スル迄之レニ抵抗シ得ルヤ否ヤハ吾人ノ大ニ疑フ所ナリトス然レモ西軍枝隊其援隊ノ到着迄此ノ大敵ニ對スル動作ヲシテ左ノ如クセハ或ハ之ヲ能クシ得ルカ如シ即チ西軍枝隊ハ七月二日ノ朝騎兵ヲ縱チテ敵ヲ扼止シ且ツ前哨歩兵一大隊ヲ以テ一時「カンチエル」ヲ防禦セシメ後チ退却セシメテ「メツチエル」ニ於テ防禦戰闘ヲ行ハシムル是レナリ然レモ如此キ動作ハ前哨大隊ヲ損害シ且ツ騎兵ヲ犠牲ニ供スル者况シヤ「メツチエル」ノ陣地ト雖モ稍利アルニ過キヌシテ勝敗ハ未タ期ス可ラサルニ於テヲヤ

又枝隊ハ更ニ進ンテ「ウイルドベルヒ」ニ至レハ善良ナル
防禦陣地ヲ占領シ得ヘシト雖モ此ノ陣地ハ「ノイ、スタツ
ト」ノ停車場ヲ去ルヲ遠キヲ以テ西軍枝隊ハ援隊ヲ缺キ
テ敵ト決戦セサルヘカラス是レ決シテ枝隊司令官ノ目
的ニアラス

以上説ク所ニヨツテ見レハ西軍枝隊ハ「ピツクウイツ」ノ
陣地ヲ占領スルヲ上策トス、敵若シ「メツチエルチン」ヲ經
テ攻撃シ來ルルハ西軍枝隊ハ之レヲ撃退シタル後チ始
メテ攻勢ニ移リ若シ又「バルヨコウ」ヲ經テ攻撃シ來ル時
ハ最後ノ援隊到着シタル後攻勢ニ移ルヲ得可シ
此ノ決定ニ因ツテ七月一日ノ午後及夜間ノ爲メ施スヘ

キ部署如何

西軍枝隊ノ騎兵ハ「ウイルドベルヒ」ニ位置シ敵ノ騎兵ノ
我枝隊ノ位置ヲ知ラントスルヲ妨クルヲ以テ適當ノ處
置ト爲ス可シ然レモ敵ノ騎兵斥候ニシテ其動作矯捷ナ
ル時ハ充分之ヲ妨クルヲ能ハサル可シ何トナレハ西軍
枝隊ノ騎兵ハ枝隊ノ兩翼ヲ繞回スル敵騎ノ斥候ニ對シ
テ安全ナラシムルヲ能ハサレハナリ然レモ亦タ騎兵ニ
中隊「ウイルドベルヒ」ニ在ルルハ枝隊ノ爲メ最モ能ク其
任務ヲ盡シ得ヘキヲ以テ茲ニ停止シ翌朝ハ敵ヲ搜索ス
ル爲メ遠ク前進セサルヘカラス、其他ノ軍隊ハ夜間「ウス
チルハウゼン」及ヒ「ノイスタット」ニ駐在シ翌朝ハ時機ヲ

失スルヲサテ「ビツクウイッ」ニ到ルヘシ但シ今此ノ軍隊等ハ尙ホ行軍ノ準備ヲ爲シ在ルヲ以テ午後第六時頃(但シ好天氣ノ際)歩兵第二十聯隊及ヒ砲兵第一中隊ヲ「ウスラルハウゼン」ヨリ「ビツクウイッ」ニ前進セシムルヲ得ハシ即チ此ノ軍隊ハ翌朝行進スルノ勞ヲ省クヲ得而シ「ノイスタット」ニ集合スル軍隊ハ之ヲ該所ニ駐在セシムヘシ何トナレハ此軍隊ハ遠ク前方ニ進シテ宿舍スルヲ困難ナレハナリ敵若シ「バルジコウ」ヲ經テ攻撃シ來リ且其兵力強大ニシテ西軍枝隊退却セサル可ラサル時ハ「ノイスタット」ノ附近ニ在ル「ドツセ」河ノ橋梁ノ外「ウステルハウゼン」ノ附近ニ在ル橋梁ヲ利用シテ防禦シ若シ「ウス

ラルハウゼン」ノ附近ニ在ル橋梁ニシテ西軍枝隊之ヲ占領セス而シテ敵ノ騎兵之ヲ破壊スルノ恐アル時ハ余ハ「ウステルハウゼン」ニ停止スル工兵半中隊ヲ翌朝茲ニ駐止セシメントス後方ノ連絡ハ「ノイスタット」ヲ經テ之ヲ取り得ヘキヲ以テ余ハ「ハインリヒ、スフェルト」ニ在ル師團架橋縱列ヲ歩兵第二十聯隊第三大隊カ撤去シタル「ブレーニッツ」ニ移轉スヘシ而シテ歩兵第三十五聯隊ノ一小隊ハ「ノイスタット」ノ停車場ヲ占領セシメサルヘカラス又再度命令ヲ下ス「ナカラシメン」カ爲メ最初ニ下スヘキ命令中ニ翌日ノ部署ヲ記入スルヲ得ヘシ歩兵第二十聯隊及砲兵第一中隊ハ筆記命令ヲ與フル前ニ口演命

令ヲ受ケテ「ビツクウイツ」ノ方ニ行進シタリ—敵ノ歩兵若シ午前第五時「ベヒリ」ヲ發スル時ハ彼レ午前第八時三十分頃「ビツクウイツ」ニ到着シ得ヘシトハ吾人カ胸算ナリ、西軍枝隊ハ豫メ防禦陣地ヲ確定シ且ツ散兵濠及砲兵ノ肩牆ヲ掘設セサルヘカラス敵ハ午前第五時前ト雖モ敢テ出發セサルモノト期シ難キヲ以テ余ハ西軍枝隊ヲシテ七月二日ノ朝第六時三十分ヨリ「ビツクウイツ」ノ附近ニ於テ戦闘準備ヲ爲サシメントス

之レカ爲メ西軍枝隊司令官ノ下ス命令ハ左ノ如シ

「ウステルハウゼン」ニ於テ千八百九十一年七月一日午後第六時

枝隊命令

- 第一、強大ナル敵ノ騎兵ハ「ダーメルゴツツ」ヲ占領シタリ
- 第二、枝隊ハ明二日ノ朝第七時及第九時ノ間ニ「ノイスタット」ノ停車場ニ到着スヘキ軍隊ト連合シ攻勢ニ轉センカ爲メ本日「ドツセー」河ヲ經テ前進セントス
- 第三、余ハ「ビツクウイツ」ノ防禦陣地ニ於テ歩兵第二十四聯隊ノ到着ヲ俟タントス
- 第四、騎兵二中隊ハ「ウイールドベルヒ」ニ停止シテ敵ト接觸シ明日敵ノ爲メニ脅迫セラレタル時ハ「ビ

ツクウイツ」ノ方ニ退却スヘシ

第五、歩兵第二十聯隊及砲兵第一中隊ハ直チニ「ピツクウイツ」ニ到リ宿營シ本街道上「ロールラツケル」壕ヲ占領スヘシ「ピツクウイツ」ニ在ル諸軍隊ハ明朝第六時三十分ヨリ行進ノ準備ヲ爲シア
ルヘシ

第六、「ウスチルハウゼン」ニ在ル工兵半中隊ハ直ニ市ノ南方及東方ニ在ル「ドツセ」河ノ橋梁ヲ占領シ明日尙ホ之レヲ固守スヘシ

第七、「ノイスタット」ニ集合シタル軍隊(歩兵第三十五聯隊、砲兵第三第四中隊)ハ依然該所ニ停止シ、明

朝第六時三十分「ピツクウイツ」ノ南端ニテ「カンベル」及「ゼーゲレ」ツツヨリ來ル道路ノ湊合點ニ集ルヘシ、歩兵第三十五聯隊ノ一小隊ハ依然「ノイスタット」ノ停車場ヲ占領スヘシ此小隊長ハ歩兵第二十四聯隊ノ各大隊下車スルヤ直ニ「ピツクウイツ」ニ行進スヘキヲ傳達スヘシ但シ此ノ小隊ハ最後ノ大隊ニ合スヘシ

第八、師團架橋縱列ハ本日「プレ」ニ前進シ明朝第七時ヨリ行進ノ準備ヲ爲シアルヘシ

第九、「ウステルハウゼン」ヨリ「ピツクウイツ」ニ前進シタル軍隊ノ大行李ハ明朝第六時三十分「ピツク

ウイツヨリノイスタットノ西方出口迄退却ス
 シ殘餘ノ大行李モ亦明日該所ニ集合スヘシ
 第十、余ハ明朝第六時「ピツクウイツ」ノ東南出口即チ
 「バルジコウ」ニ通スル道路ノ支分點ニ於テ歩兵
 兩聯隊長砲兵司令官及工兵中隊長ニ口演スル
 所アルヘシ

第十一、余ハ今ヨリ「ピツクウイツ」ニ於テ舍營ス

旅團長又少將

次ニ警戒勤務ニ關シテ詳述スル所アラント欲ス
 日未タ没セサル間ハ騎兵ヨリ一小隊ノ小哨ヲケルツリ
 ノ附近ニ出シ此ノ小哨ヨリ更ニ下士哨ヲシテ敵方ニ

在ル土地ヲ監視セシムヘシ而シテ是ヨリ出ス斥候ヲシテ
 敵「ダーベルゴツツ」ノ外ニ尙ホ他ノ村落ヲ占領スル所ナ
 キヤ否ヲ知ラシカ爲メ此村落ヲ兩翼ヨリ繞回シ往カシ
 ムヘシ又騎兵ノ首部ハ晝間「ウイルドベルヒ」ノ西方ニ停
 止シ三個ノ獨立下士哨ヲ出シテ自ラ警戒スヘシ即チ第
 一獨立下士哨ハ「ウイルドベルヒ」ノ東南ニ在ル高地ニ第
 二ノ獨立下士哨ハ「ウイルドベルヒ」ノ東北ノ出口ニ在テ
 前方ニ在ル小哨ノ方向ヲ監視シ且ツ小哨ニ於テ特別ノ
 出來事アル時ハ速カニ之レヲ報告セシムヘシ而シテ第三
 獨立下士哨ハ「ウイルドベルヒ」ノ西北ニ在ル高地ニ在テ
 シメ夜間ハ全騎兵ヲ「ウイルドベルヒ」内ニ集メテ東南東

北及西北ニ在ル三出口ヲ閉塞シ各出口ニハ半小隊ノ下馬シタル騎兵部隊ヲ出シ騎兵銃ヲ以テ防禦セシメ其他ノ出口ハ土民ヲシテ之レヲ閉塞セシメ且ツ斥候ヲ派遣シテ前方ノ地ヲ監視セシムルヲ良トス、此時騎兵首部ハ掩蔽ノ下ニ宿營シ得ヘシト雖モ決シテ鞍ヲ卸スヘカラ

ス
「ピツクウイツ」ニ在ル軍隊ヲ警戒セシカ爲メニハ一小哨ヲ「バルジョウ」ニ通スル道路ノ傍ヲニ他ノ一小哨ヲ「ロ」ルラツケル「濠」ニ架シタル本街道ニ在ル橋梁ノ傍ヲニ配置スヘシ「ウステルハウゼン」ノ橋梁ヲ占領スルニハ七月一日ノ夜ハ只若干ノ衛兵ヲ用ヒ七月二日ノ朝ニハ一機

隊ヲ東方ニ在ル本橋梁ノ傍ヲニ出スヘシ
「ノイスタツト」ハ特ニ之レヲ警戒スルヲ要セス
今ヤ七月一日ヲ温暖ニシテ且ツ乾燥セル天候トセスシテ強雨續降スルモノト假定スヘシ
天候悪キ爲メ敵兵ノ動作ヲ控制スルハ自然ノ理ニシテ是レカ爲メ彼我共ニ安全ナルヲ得可キモノトス故ニ騎兵首部ハ晝間ハ「ウイルドベルヒ」ニ於ケル側方ノ開放シタル小舎ニ於テ休憩スルヲ得可ク而シテ枝隊ハ夜間若干ノ兵卒ヲシテ閉塞シタル村落出口ヲ占領セシムレハ足レリトス可シ七月一日「ウステルハウゼン」ヲ守備セシモノハ茲ニ之ヲ殘置シ七月二日ノ朝「ピツクウイツ」ノ方ニ

行進セシムヘシ故ニ七月二日師團架橋縱列ヲハイソリ
 ヒスフエルデヨリブレーニツツニ行進セシムルヲ得可
 シ天候ハ變換シ易シ故ニ或ハ降雨ノ爲メ衣服悉ク濕ヒ
 爲メニ熱病等ニ罹ルカ如キ不幸ヲ免ル、トアリト雖モ
 若シ天氣依然トシテ降雨止マサルニ於テハ如此部署シ
 以テ降雨ニ曝露セスシテ徹夜スルノ利益ヲ得ヘシ夫レ
 司令官タルモノ風雨ニ暴露シ疾病ニ罹ルヲ恐レサルモ
 ノナキハ吾人ノ知ル所ナリ蓋シ兵卒ノ絶ヘス行進シ且
 ツ戦闘シテ屈セサル所ノ志氣ハ之ヲ養成スルヲ得ヘシ
 ト雖モ疾病ニ對スルモハ志氣何ノ効カアル即チ司令官
 タル者ハ軍隊ノ如此キ不幸ニ罹ラサルカ如ク宜シク願

慮セサルヘカラス

當日ヲ七月一日トセス之レヲ一月一日ニシテ降雪紛々
 寒威肌ヲ刺スノ氣候ト假定スル時ハ「ピツクウイツ」ノ陣
 地ハ堅固ナラサルカ如シ何トナレハ「ロールラツケル」濠
 及「ピツクウイツ」湖ハ皆氷結スルヲ以テ障害物トナラサ
 レハナリ然レモ此ノ陣地ハ西軍枝隊近ク援隊ニ接シ遠
 ク敵ニ離レ且ツ攻撃ニ轉スルニ際シ障害物ナルモノナ
 キヲ以テ之ヲ他ノ陣地ニ比スルモハ蓋シ良好ナリト謂
 ハサル可ラス西軍枝隊ノ任務ハ冬季ニ在テハ寧ロ此ノ
 陣地ニ於テ最能ク盡ス、ト得、是レ敵ハ冬季ニ於テ
 遅ク出發シ枝隊ハ時機ニ遅レスシテ鎮道ニヨリ運搬ス

ル援隊ヲ得ヘク即チ西軍枝隊ハ敵兵此陣地ノ前方ニ現
出スル前既ニ攻勢ニ轉スルヲ得ヘケレハナリ而シテ冬季
ニ於テハ西軍枝隊ハ八時後ニ非ラサレハ「ピツクウイツ」
ニ集合スルヲ能ハス騎兵ハ日未タ没セサル間ハ「ウイル
ドベルヒ」ノ附近ニ位置シ薄暮ニ及ンテ「メツチエルチン」
迄返還シ歩兵一中隊ヲ派遣シテ之ヲ警戒セシムヘシ
西軍枝隊敵國ニ在ル時ハ上ノ戦況更ニ一變スヘシ殊ニ
土民敵心ヲ懷イテ不穩ノ舉動アルニ當リテ然リトス此
時ニ在テハ西軍枝隊ノ援隊鐵道ニ乘シテ最前線ニ達ス
ルヲ能ハス時機最モ良好ナル時ト雖モ歩兵第二十四聯
隊ハ「チエルニツ」停車場ニ於テ下車セサル可ラス然ル

キハ「ピツクウイツ」迄一晝半即チ二時間半ノ行進ヲ爲
サ、ル可ラス之ヲ反言スレハ各大隊ハ停車場ニ到着シ
タル後チ三時間即チ午前第十時、第十一時及第十二時ニ
アラサレハ「ピツクウイツ」ニ達スル能ハス吾人ノ胸算ニ
ヨレハ敵ハ七月一日午前第八時三十分頃既ニ「ピツクウ
イツ」ニ攻撃シ來ルヲ以テ西軍枝隊ハ最後ノ援隊ヲ得ル
マテニハ三時間半ノ戦鬪ヲ行ハサル可ラス然リ如此不
利アルモ枝隊ハ「特ニ「ドツセ」」河ヲ經テ前進スルノ命ヲ
受ケサル時ト雖モ「ピツクウイツ」附近ノ陣地ヲ占領セサ
ル可ラス何トナレハ此後方ニハ西軍枝隊ノ爲メ善良ナ
ル陣地アラサレハナリ、然ル時ハ枝隊ハ「ツエルニツ」ノ

停車場及「ノイスタット」ノ橋梁ヲ堅固ニ守備シ且ツ「ピツクウイツ」ノ兵力ヲ減殺スル「ナカラ」カ爲メ此兩點ヲ警戒スル爲メニハ工兵中隊ヲ以テ之ニ充テ師團架橋縦列ハ「ノイスタット」ニ在ル橋梁修繕ノ爲メ應用セサル可ラス然ルルハ「ウステルハウゼン」ハ全ク之レヲ開放スルニ至ル而シテ「ピツクウイツ」ニ於テ要スル散兵濠及砲兵肩牆ハ工兵ノ補助ナクトモ歩兵ヲ以テ之レヲ掘設シ得ヘシ

敵若シ預定ヨリモ二時間遅レテ「ピツクウイツ」ノ前方ニ到着スルルハ枝隊ノ最後ノ援隊ハ一時間半ノ戦闘後到着スルヲ得可シ

蓋シ實際或ハ援隊ヲシテ鐵道ニ乘シ「チエルニッツ」迄來ラシムル「甚」タ難カルヘシ然ルルハ歩兵第二十四聯隊ハ徒步行進ヲホシ七月二日約四獨里ノ行進後「ウステルハウゼン」或ハ「ノイスタット」ニ達スルモ到着後直チニ猛烈ナル攻戰ニ轉スル「或」ハ能ハサルヘシ通常援隊到着前決戰スルハ宜ク之ヲ避クヘキモノナルヲ以テ西軍枝隊ハ寧ロ「キトリツツ」ニ退キ茲ニ於テ援隊ト相合シ七月三日該所ヨリ攻戰ヲ行フヲ良トセン然ルルハ此退却ハ七月一日ノ晩ニ施行スヘキカ或ハ七月二日敵ノ前進シ來ルニ際シ施行スヘキヤ疑問ニ屬ス抑敵ノ「ダーベルゴツ」ヨリ前進シ來ルハ確實ニ之ヲ知ルヲ得スト雖モ十

停車場及「ノイスタット」ノ橋梁ヲ堅固ニ守備シ且ツ「ピツクウイツ」ノ兵力ヲ滅殺スルコトナカラシカ爲メ此兩點ヲ警戒スル爲メニハ工兵中隊ヲ以テ之ニ充テ師團架橋縦列ハ「ノイスタット」ニ在ル橋梁修繕ノ爲メ應用セサル可ラス然ルルハ「ウステルハウゼン」ハ全ク之レヲ開放スルニ至ル而メ「ピツクウイツ」ニ於テ要スル散兵濠及砲兵肩牆ハ工兵ノ補助ナクトモ歩兵ヲ以テ之レヲ掘設シ得ヘシ

敵若シ預定ヨリモ二時間遅レテ「ピツクウイツ」ノ前方ニ到着スルルハ枝隊ノ最後ノ援隊ハ一時間半ノ戦闘後到着スルヲ得可シ

蓋シ實際或ハ援隊ヲシテ鐵道ニ乗シ「チエルニッツ」迄來ラシムルト甚タ難カルヘシ然ルルハ歩兵第二十四聯隊ハ徒步行進ヲナシ七月二日約四獨里ノ行進後「ウステルハウゼン」或ハ「ノイスタット」ニ達スルモ到着後直チニ猛烈ナル攻戰ニ轉スルト或ハ能ハサルヘシ通常援隊到着前決戰スルハ宜ク之ヲ避クヘキモノナルヲ以テ西軍枝隊ハ寧ロ「キトリッツ」ニ退キ茲ニ於テ援隊ト相合シ七月三日該所ヨリ攻戰ヲ行フヲ良トセン然ルルハ此退却ハ七月一日ノ晩ニ施行スヘキカ或ハ七月二日敵ノ前進シ來ルニ際シ施行スヘキヤ疑問ニ屬ス抑敵ノ「ダーベルゴツ」ヨリ前進シ來ルハ確實ニ之ヲ知ルヲ得スト雖モ十

中八九ハ前進スル者トスルヲ得可シ然ラハ則敵心アル
敵地ノ市街ヨリ敵ノ前進シ來ル目前ニ於テ退却スルハ
甚タ不利ナルヲ以テ一日ノ晩ニ退却スルヲ良トス可シ
何トナレハ敵若シ七月二日行進スルヲナキ時ハ「キーリ
ツ」ハ「ウステルハウゼン」ヲ距ル「ダ」ベルゴツツヨリ近
キヲ以テ西軍枝隊ハ七月三日ニ於テ敵ヨリモ早ク「ウス
テルハウゼン」ヲ占領シ得レハナリ此ノ場合ニ於ケル爾
後ノ説明ハ茲ニ之ヲ爲サス何トナレハ西軍枝隊ハ「ウス
テルハウゼン」附近ニ停止スルモノト假定シテ此ノ説明
ノ基礎トスレハナリ

第四

枝隊ハ翌日「ウステルハウゼン」ニ於テ暫時間敵ヲ
扼止シ後西方ニ退却セント欲スル時

吾人ハ此第四ノ場合ニ於ケル説明ハA第二ノ戦况ヲ以
テ基礎トシ「ダ」ベルゴツツノ附近ニ於テ撃破セラレ「メ
ツチエルチン」「ウステルハウゼン」迄退却シタル西軍枝隊
ノ爲メニ施スヘキ種々ノ方策ヲ講究セント欲ス然レモ
吾人カA第二戦况ニ於テ與ヘタル答解ニ依レハ青年士
官ハ容易ニ此ノ場合ニ於ケル答解ヲ爲シ得ヘキヲ以テ
茲ニ聊カ戦况ヲ變シ以テ之レカ答解ヲ爲サント欲ス

A 第四戦况

西軍枝隊(自國ニ於テ)ハ七月一日ノ朝「ガルツ」ヨリ東方ニ
向テ發進シ「ワルホウ」附近ニ於テ「フェールベルリン」ヨリ
前進シタル敵ノ一枝隊ト衝突シテ四時間ノ戦闘ヲ交ヘ
遂ニ擊退セラレタリ乃チ西軍枝隊ハ「マンケル」ヨリ二縱
隊トナリテ退却ス右翼縱隊(步兵第二十聯隊、騎兵第一中
隊、砲兵第一第二中隊、及工兵中隊)ハ「ガルツ」及「バルシコウ」
ヲ經テ左翼縱隊(步兵第三十五聯隊、騎兵第二中隊、砲兵第
三中隊)ハ「ウイルドベルヒ」及「ガンチエル」ヲ經テ退却ス此
ノ兩縱隊ハ午後第四時「ビツクウイツ」及「メツチエルチン」
ニ達シ師團架橋縱列及大行李ハ既ニ其以前「クレンボウ
エル」水車迄退却シタリ、敵ノ騎兵ヨリモ優勢ナリシ西軍

枝隊ノ騎兵ハ敵ノ首力ハ「ガルツ」ヲ經、其一部ハ「ウイルド
ベルヒ」ヲ經テ進撃シ來リ其步兵ノ尖兵ハ「ワイセス、ロ
ス」及「ガンチエル」附近ニ達シタルヲ確報セリ西軍枝隊
司令官ハ電信ヲ以テ正午頃「ハーフエルベルヒ」ニ退却ヲ
報告シ午後第四時其返信ヲ受領シタリ曰ク其枝隊ハ「キ
「リツツ」ヲ經テ退却スヘシト雖「ドツセ」河邊ニ於テ
暫時間敵ヲ扼止スヘシト
枝隊ハ非常ノ損失ヲ受ケタリト雖「」敢テ秩序ヲ紊乱ス
ルニ至ラス而シテ敵モ亦非常ノ損失ヲ受ケタリ何トナ
レハ敵ハ西軍枝隊ヨリモ其兵力多キヲ僅カニ步兵一
大隊及砲兵一中隊ニ過キサレハナリ

天候

此日温暖ニシテ乾燥シタル夏天ナリ

問題

七月一日夜ニ於ケル枝隊司令官ノ部署—警戒法

説明

西軍枝隊ハ七月一日「ガルツ」ヨリ約一獨里前進シテ敵ト四時間頑固ニ且不幸ニ戦闘ヲ爲シ敵ノ爲メニ追跡スル所トナリテ二獨里餘退却シタリ、縱令枝隊ハ秩序整然タリト云フト雖モ是レ不幸ナル戦闘後ニ在ルモノトスルキハ稍善良ナリト云フニ過キサレシ而シテ敵ハ此ノ戰鬥ニ於テ大ニ兵卒ヲ損シタリト雖モ勝利後ニ在テハ精

神壯快身体亦タ健全ナルベシ夫レ如此ナルモ敵ハ七月一日ノ晩ニハ何事ヲモ企ルヲ莫ル可シ然リ西軍枝隊ノ騎兵優勢ナルカ故ニ敵ノ騎兵ニ脅迫セラレ警急集合等ヲ行フカ如キヲモ是レ莫ル可シ然レモ敵ノ歩兵尖兵ハ「ピツクウイツ」ノ前方三吉羅米突及「メツチエルチン」ノ前方三吉羅米突ニ在リ而シテ西軍枝隊ハ現ニ「ピツクウイツ」及「メツチエルチン」ニ停止ス吾人ハA第二戦況ヲ説明スルニ當リ西軍枝隊「ウステルハウゼン」ニ宿營スルヲニ關シ種々ノ意見ヲ陳述シタリシカ現在ノ場合ニ於テハA第二戦況ニ於テ陳述シタルモノ、中尙西軍枝隊ハ翌朝敵ニ抵抗セサルヘカラサルヲ附加セサル可ラス

枝隊司令官ハ如何ナル方法ニ因リ枝隊ヲ宿營セシムル
 カ又翌朝如何ナル方法ニヨリ敵ニ抵抗スルカ又如何ナ
 ル所ニ陣地ヲ占ムルカヲ決定スル迄ハ軍隊ヲ「ピツクウ
 イツ」及「メツチエルチン」ニ停止セシムルナラン、蓋シ西軍
 枝隊ハ停止ノ間ニ軍隊ノ團結ヲ整理シ且ツ之ヲシテ新
 銳ノ志氣ヲ養ハシメサル可ラス

第一、最モ簡單ナル方法ハ兩縱隊ヲ「ノイスタット」及「ウ
 スタルハウゼン」ニ於テ宿營セシメ「ドツセ」河ニ架設シ
 タル橋ヲ閉鎖シ占領シテ翌早朝之レヲ破壊シ後退却ス
 ルニ在リ、此破壊ヲ爲スルハ縱令暫時間タリト雖モ敵ヲ
 拒止スルコトヲ得ヘシ然レモ自國ニ於テ戰鬪スル軍隊ハ

如此キ橋梁ノ破壊ヲ決定スルハ甚タ困難ニシテ紙上ノ
 論ヲ以テ之ヲ決定スル能ハス殊ニ軍隊ハ後チ再ヒ之レ
 ヲ要スルコトナキニシモ非ザレハナリ、然レモ此方法ヲ
 斷行スル人アラハ其人ハ即チ任務ヲ盡シタルモノト云
 フヘシ殊ニ小枝隊ヲ橋梁ニ出シテ敵ノ之ヲ修繕スルヲ
 妨害スルニ於テハ更ニ効アリトス可シ若シ此ノ「ノイス
 タット」及「ウスタルハウゼン」ニ在ル橋梁ヲ防禦スルニ決
 スルキハ兩點共ニ守備シテ一方ヲ捨ツ可ラス何トナレ
 ン敵若シ一縱隊ヲ進メテ一方ヲ渡過スルキハ他ノ一方
 ハ之ヲ維持スルコト能ハサルナリ

第二、兩縱隊ヲ「ノイスタット」及「ウスタルハウゼン」ニ退

却セシメ從テ前哨枝隊ヲ「ドツセー」河ノ東岸ニ退却セシムルヲ得可シ然ルキハ七月二日朝本隊出發ノ後此前哨枝隊ハ更ニ閉鎖スヘキ橋梁ノ後方ニ至リ茲ニ於テ長時間敵ニ抵抗スルヲ得可シ而シテ「ノイスタット」ニ在ル右翼縱隊ノ前哨ハ「ノイスタット」停車場及「カンペトル」ニ亘ル線ヲ占領シ「ウステルハウゼン」ノ前方ニ在ル兩前哨枝隊ハ「ウステルハウゼン」ト「ピツクウイツ」ノ中間ヨリ「ウステルハウゼン」ト「メツチエルチン」ノ中間ニ亘ル線ヲ占領スヘシ而シテ此場合ニ於ケル防禦ハ双方共ニ協力スルヲ要ス

第三、前哨枝隊ハ「ピツクウイツ」及「メツチエルチン」ノ附

近ニ本隊ハ「ウステルハウゼン」ニ退却スルノ場合ニハ前哨枝隊ハ此兩地點ニ於テ敵ヲ拒止スルヲ勉ムルカ或ハ時機ヲ見テ「ウステルハウゼン」ニ退却シ其橋梁ヲ防禦スヘシ此ノ場合ニ於テハ夜間前哨枝隊ハ休憩セスシテ戰鬥準備ヲナサル可ラサルカ故ニ殆ソト休憩スルノ暇ナカルヘシ如此時ハ戰鬥ノ指揮兩端ニ亘リテ困難ナルモノトス抑「一度撃退セラレタル軍隊ハ「ピツクウイツ」及「メツチエルチン」ノ附近或ハ「ウステルハウゼン」橋梁或ハ「ドツセー」河ノ西方等二回或ハ三回ノ陣地ヲ占メテ敵ヲ防禦スルハ機動演習ニ在テハ往々見ル所ナリト雖モ實戰ニ於テハ之ヲ行フト到底能ハサルヘシ何トナレハ

軍隊最初ノ陣地ヲ撤去シタル後再ヒ第二陣地ニ據ルハ甚タ困難ナル事ナレハナリ故ニ余ハ假令軍隊ノ一部タリトモ之レヲ「ビツクウイツ」及「メツチエルチン」ノ附近ニ停止セシムルハ「ドツゼ」河迄退却スルヨリモ優レルヲ信スルナリ

第四、西軍枝隊ハ七月二日ノ朝永ク敵ヲ扼止セント欲セハ「ウステルハウゼン」ノ近傍「ドツゼ」河ノ西方ニアル波狀地及藪林ヲ占領シ「ドツゼ」河ヲ超ヘントスル敵ヲ妨害センカ爲メニハ砲兵ヲシテ「クレンポウエル」水車ヨリ「ハインリヒスフェルデ」ニ通スル街道ノ近邊ニアル高地上ニ砲列ヲ布カシムベシ枝隊ハ此ノ地點ヲ占領スル

ルハ敢テ移動スルコトナク敵ノ「ウステルハウゼン」及「ノイスタット」ヨリ進ムモノニ對シ同時ニ之ニ抵抗スルヲ得枝隊ハ之ヲ實施スル爲メニハ最初ヨリ即チ七月一日「ドツゼ」河ノ背後迄退却スルコト必要ナリ若シ枝隊ハ七月一日上ニ示シタル陣地ニ停止スルルハ七月二日ノ朝早ク出發セサルヘカラス此レ敵ヨリ脅迫セラレ、コトナクシテ企圖シタル防禦陣地ニ達センカ爲ナリ若シ七月一日堅固ニ此ノ陣地ヲ防禦セント欲スルルハ此ノ陣地ニ於テ行フヘキ動作ヲ豫メ定ムルコト必要ナルヲ以テ茲ニ退却スルヲ良トス即チ枝隊ハ七月二日ニ敵ニ抵抗セスシテ直ニ退却シ本隊ハ「ハインリヒスフェルデ」迄後衛及

前哨ヲ「ドツセ」河ノ西岸迄退却セシムヘシ前衛ノ兵力ハ企圖シタル抵抗ノ度ニ從ツテ之レヲ増減スヘシト雖此兵力ハ少ナクモ歩兵一大隊及騎兵若干ヲ有シ又多クモ歩兵一聯隊騎兵二中隊及砲兵三中隊ニ限ルヘシ余ハ此ノ書ヲ愛讀セラル、青年士官ニ枝隊命令ノ筆記ヲ委ス蓋シ青年士官ハ上ニ示シタル命令ヲ参考セハ此ノ命令ヲ作ルノ基礎ヲ得ヘシ

余ハ青年士官ニ此ノ命令ヲ委スルニ先チ注意スヘキモノアリ即此所ニ假定シタル天候ハ依然トシテ變スルコトナク西軍枝隊ハ冬季ニ於テ敵國ニ在ルモノトス若シ炎熱酷シキ天候ナルニ於テハ騎兵ノ掩護ニヨリ一時少ク

モ一時間休止シテ軍隊ノ志氣ヲ養ヒ後「ドツセ」河ノ背後ニ退却セントス此レ翌日後衛ヲ以テ敵ノ「ドツセ」河ヲ渡過スルニ當リ之レヲ扼止センカ爲メナリ

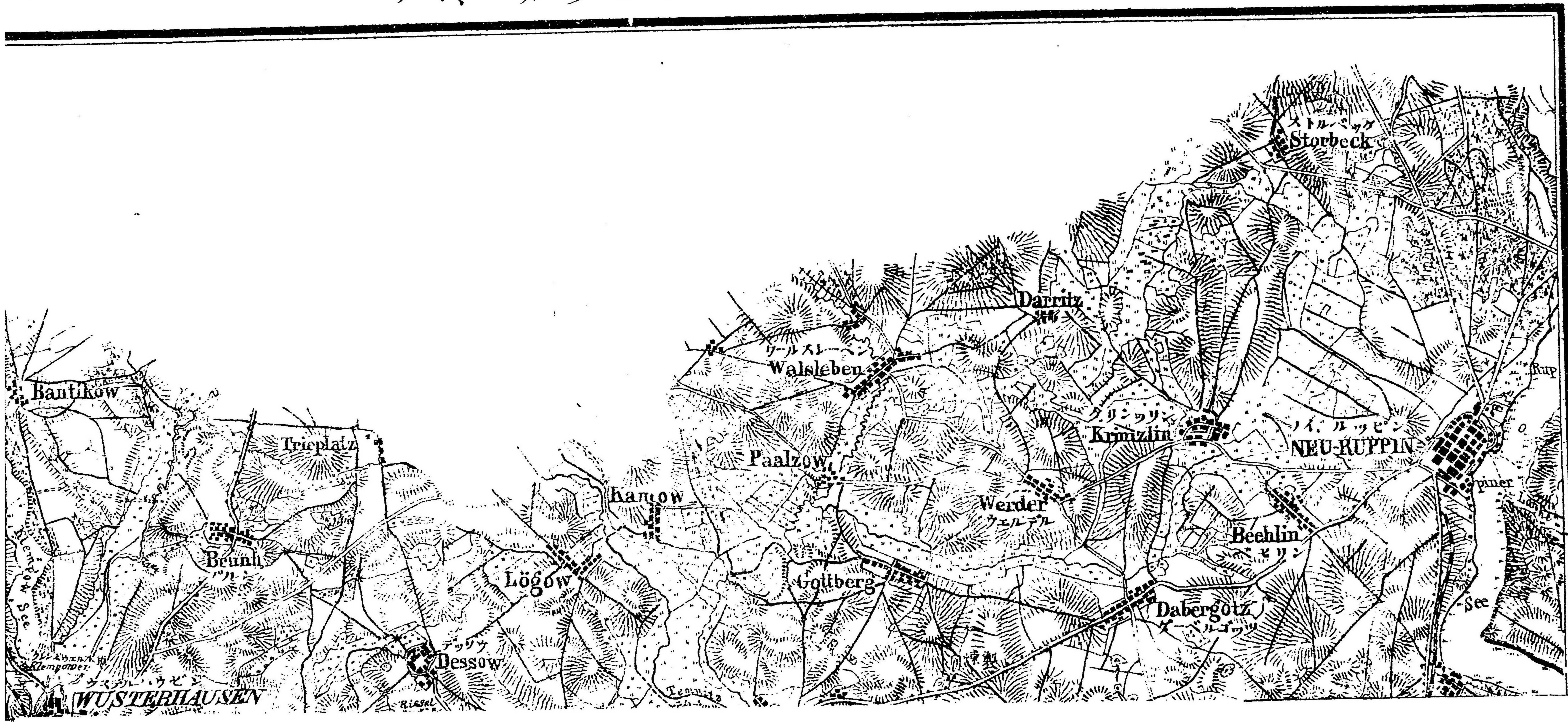
若シ強雨續降スル時ハ余ハ全軍隊ヲ「ノイスタット」及「ウスタルハウゼン」ニ置キ夜間ハ唯橋梁ノミヲ警戒シ「ノイスタット」ニ於テ宿營シタル縱隊ハ明日早朝敵ニ抵抗セスシテ「キ」ルツツニ行進セシメ而シテ左翼縱隊ヲシテ翌早朝「ウスタルハウゼン」ヲ撤去セシメ之レヲ「ドツセ」河ノ右岸ニアル防禦陣地内ニ進入セシムルナラン此レ敵ノ「ドツセ」河ヲ經テ前進スルヲ扼止センカ爲メナリ余ハ冬期ニ於テモ之レト同一ニ動作スルナラン

西軍枝隊ハ敵國ニ在ル時ハ余ハ決シテ最初ノ日ニ於テ
軍隊ヲ退却セシメス「ウステルハウゼン」及「ノイスタット」
ハ前方ニ於テ占領スルニ價值アル陣地ト雖モ若シ土民
敵心ヲ懷テ不穩ノ舉動スル時ハ之レヲ占領スル「堅固
ナラサルヘカラス西軍枝隊ハ第二日ニ於テ只「ドツセイ」
河ノ西岸ヨリ敵ヲ扼止シ得ヘシ

NEU-RUPPIN

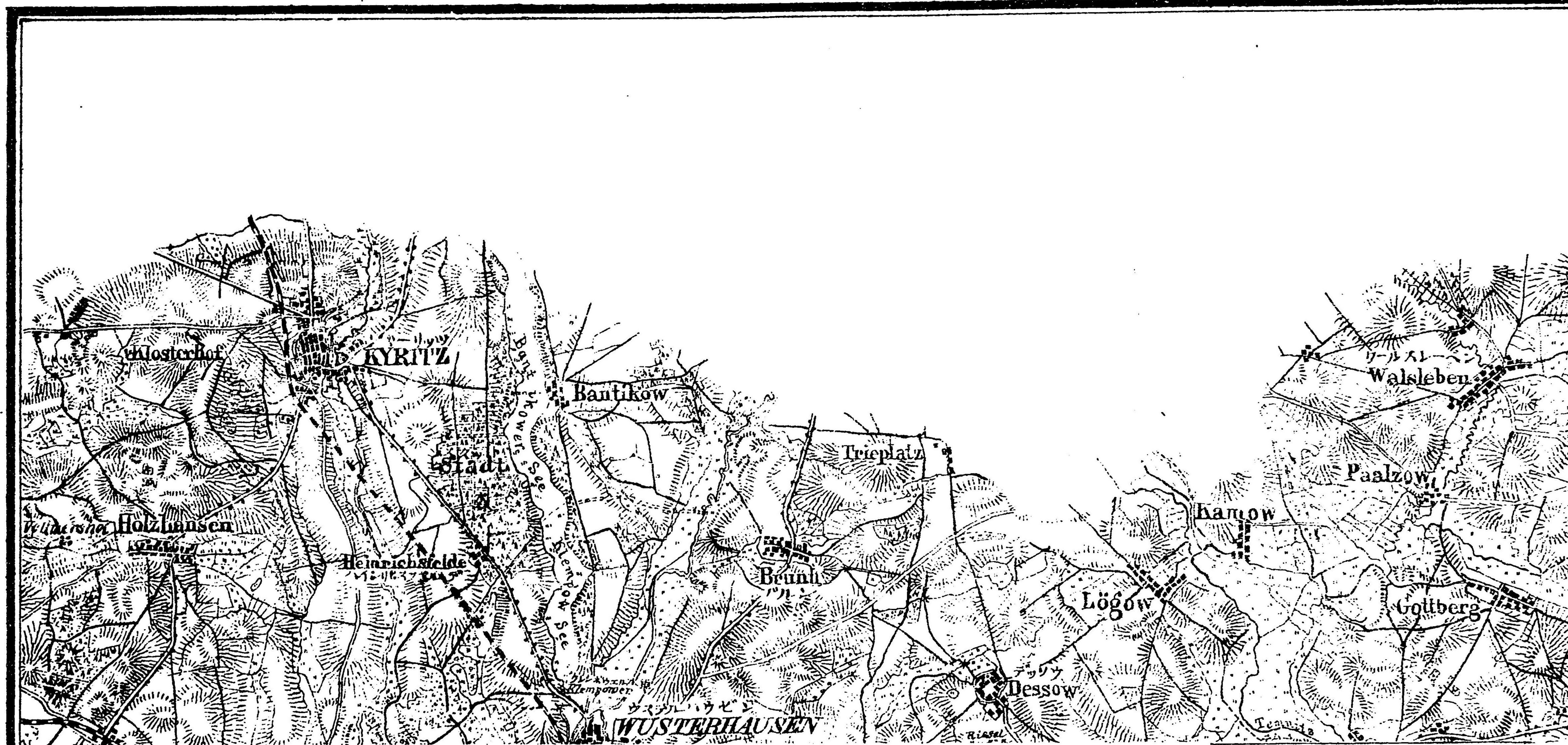
ノイ、ルツピン

戰略術問答
第七卷附圖



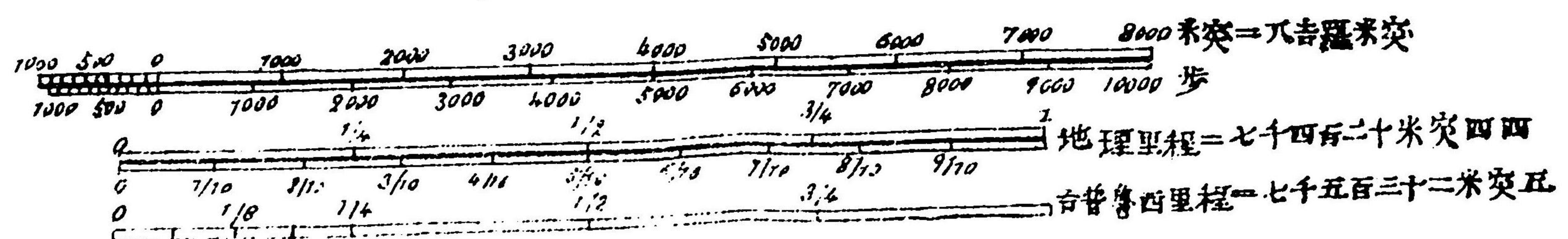
NEU-RUPPIN

ノイ、ルッピン



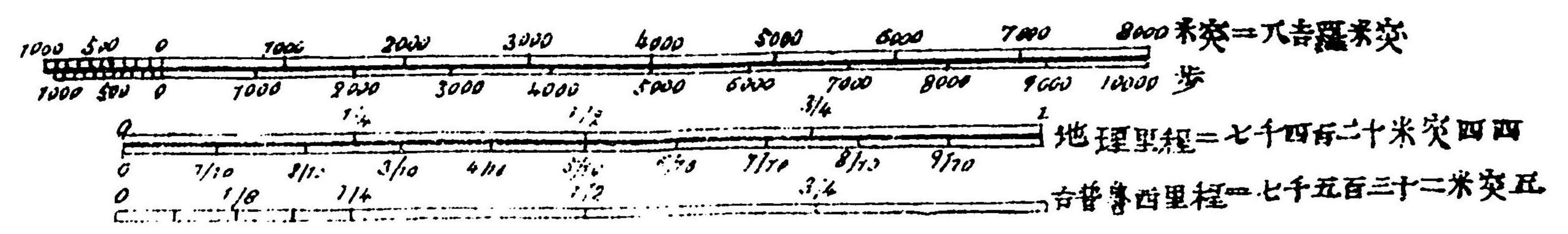


梯尺十万分一



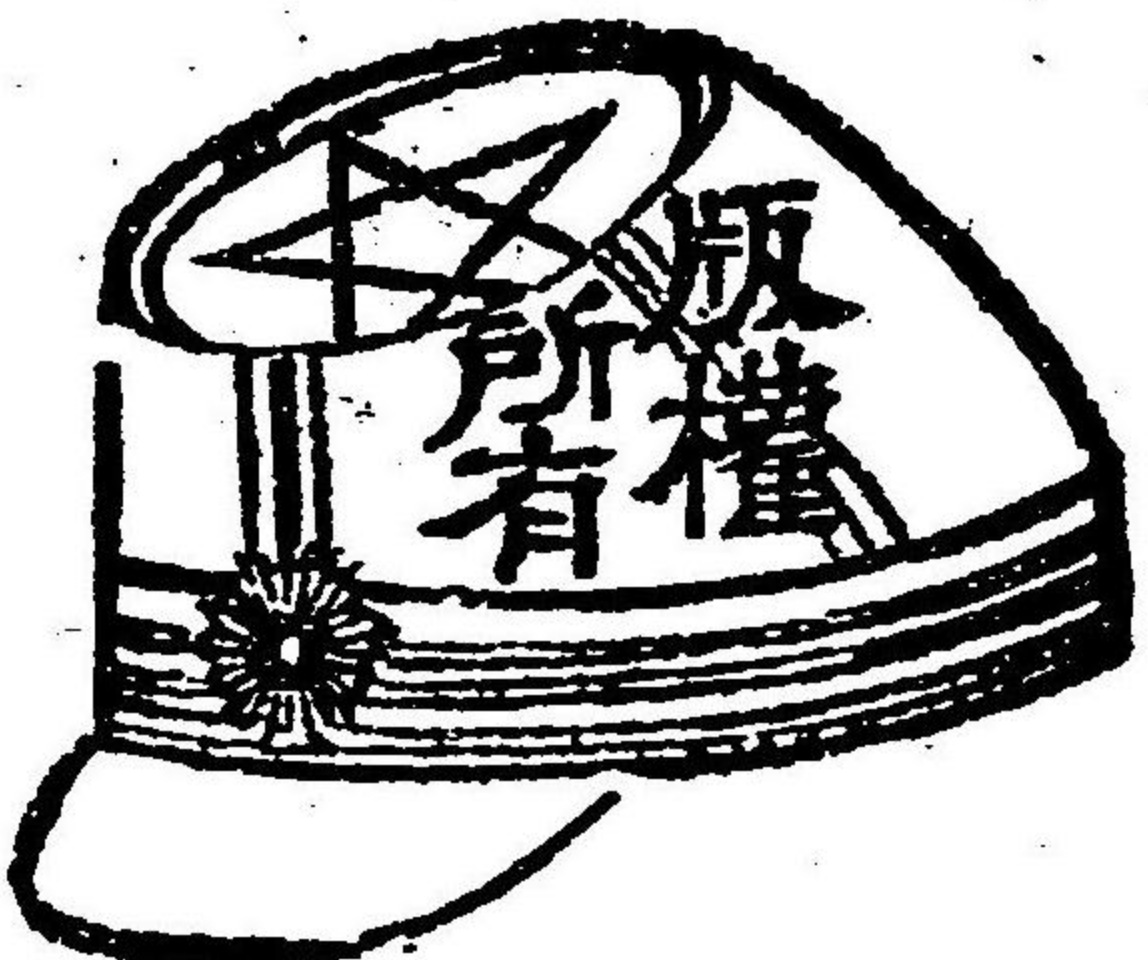


梯尺十万分一



明治廿七年三月八日印刷
同 年同月十八日發行

定價金拾貳錢



印刷兼發行者

滋賀縣平民
柴田源三郎
東京市麴町區麴町二丁目八番地

印刷所

兵林館
東京市麴町區麴町二丁目八番地

陸軍大學校
石山學校
幼年學校
御用印刷并發賣所

兵林館
東京市麴町區麴町二丁目八番地

71
176

戰略術問答

第八卷

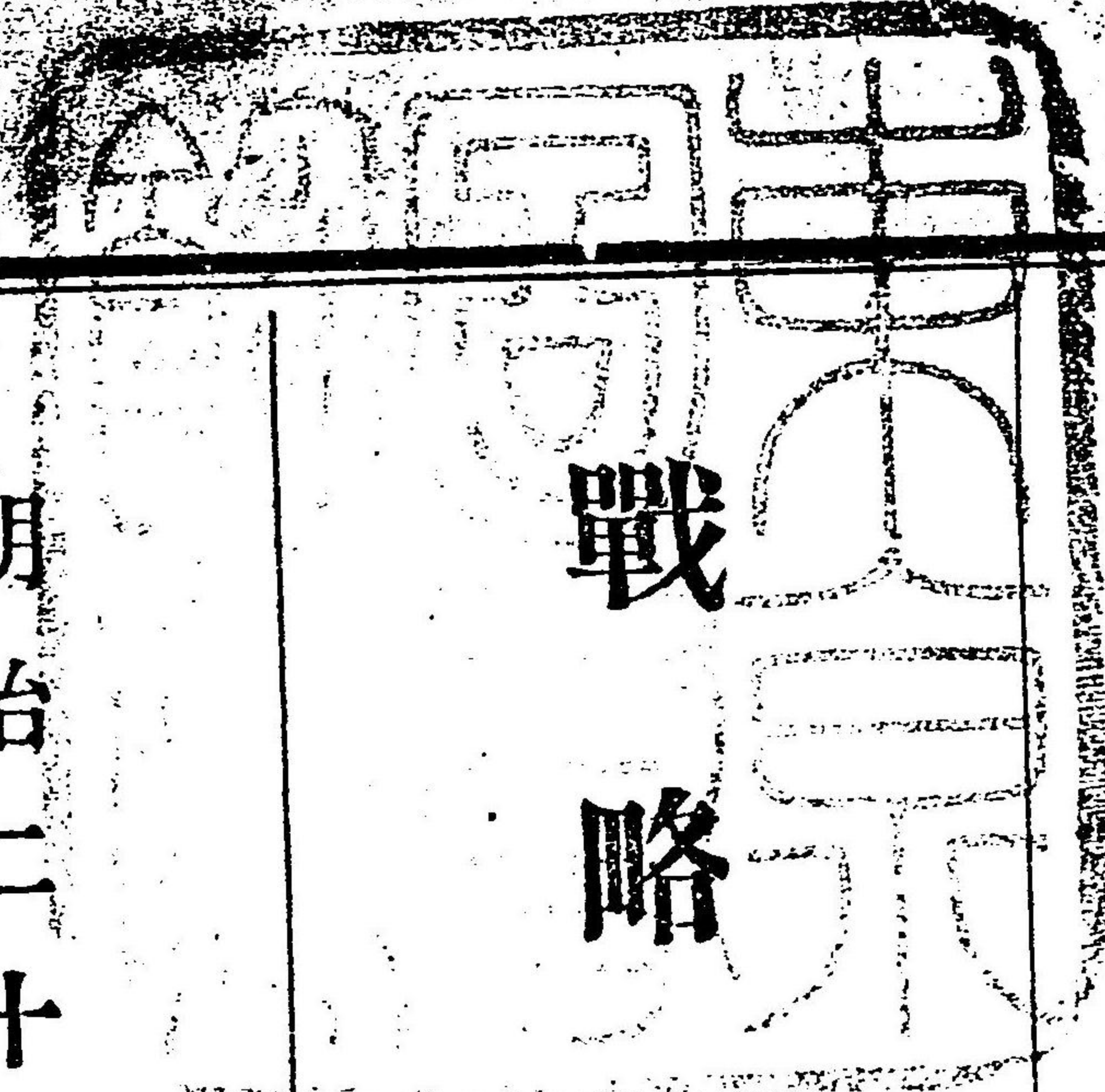
陸軍戶山學校用本



戰
略
術
問
答

第八卷

明治二十七年五月



戰略術問答第八卷

緒言

始メテ秋期演習間ノ旅團機動演習ヲ統監スヘキ任務ヲ
受領シタル旅團長ハ其演習ノ計畫ヲ爲シ且ツ實施法ヲ
按スルヲ甚ク困難ナルヘシ況ンヤ其人曾テ職ヲ參謀本
部ニ奉シ陸軍大學校ニ在學シ若クハ高等副官ニ任セラ
レタルヲナキニ於テヲヤ如此キ旅團長ヲ終始輔佐スル
所ノ副官モ亦曾テ陸軍大學校ノ教育ヲ受ケス始メテ如
此キ演習ニ臨ミタル人ナル時ハ其困難タルヤ一層大ナ
ルヘシ
曾テ步兵聯隊長若クハ步兵大隊長ノ職ヲ奉シ衛戍演習

ヲ指揮シタル歩兵旅團長ニ在テハ旅團機動演習ノ爲メ能ク其方法ヲ豫習シ得ヘシト雖モ騎兵旅團長ニ在テハ如此キ豫習ノ時機ヲ得ルヲ稀ニ砲兵旅團長ニ於テ殊ニ稀ナリトス故ニ砲兵旅團長ニシテ旅團機動演習ノ計畫ヲ定メ且ツ之ヲ實施セサルヘカラサル時ハ其困難察スルニ餘リアリ

又機動演習ニ於テ始メテ枝隊ヲ指揮シ若クハ前哨ヲ配置スヘキ命ヲ受ケタル佐官ハ曾テ見聞若クハ習學セサル狀況ニ遭遇スルヲ屢アラソ此ニ際シ該佐官ノ處置ニシテ其長官ノ意ヲ満足スルニ足ラサル時ハ將來又其技量ヲ顯ハスノ時機ナキニ至ラン

編者ハ幸ヒ屢秋季機動演習ヲ統監シ且ツ之カ實施ヲ觀察シタルヲ以テ經驗ニ基キ實地ニ徴シ詳細ニ此カ計畫及ヒ實施法ヲ示スヲ以テ無益ニアラサルヲ信セリ

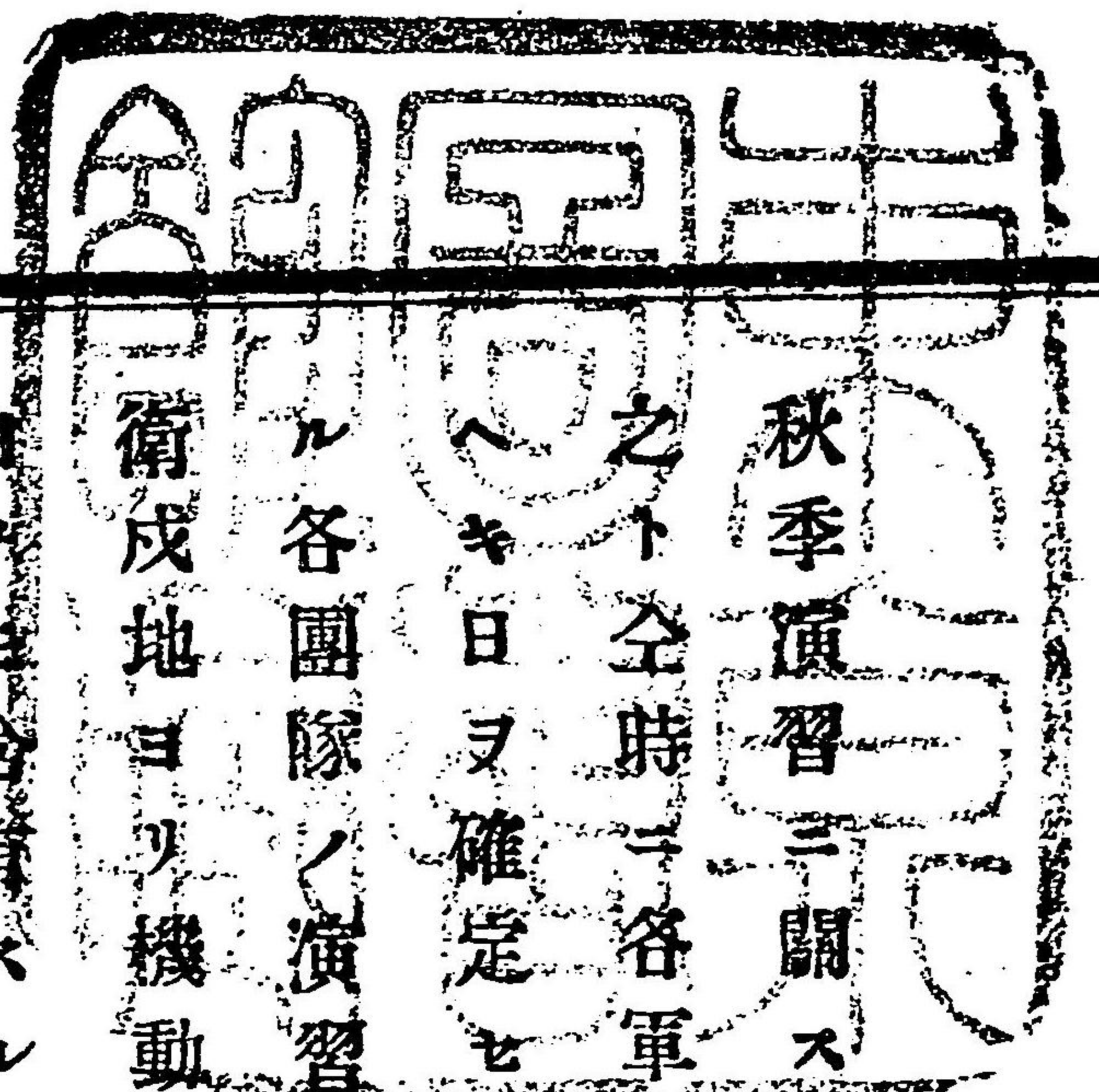
フォン、ギチツキー 識ス

戰略術問答第八卷

獨乙陸軍砲兵大佐フオン、ギチツキイ著

日本陸軍戸山學校譯

秋季演習ニ關スル勅令ハ毎年二月若クハ三月ニ發布シ
之ト全時ニ各軍隊カ秋季演習ヲ終ヘ其衛戍地ニ返還ス
ヘキ日ヲ確定セラル即チ此日ハ總テ秋季演習中ニ於テ
各團隊ノ演習日割ヲ定ムル基礎ニシテ尙此中ニハ各
衛戍地ヨリ機動演習地ニ赴ク途次施行スル所ノ各演習
日ヲモ含有スルモノトス
今第六師團ハ左ノ如ク演習日割ヲ定メラレ就中混成第
十一旅團機動ノ爲左ノ如ク規定セラレタルモノト仮定



ス

第一、混成第十一旅團ハ步兵第十一旅團ノ二聯隊(第二十及ヒ第三十五聯隊)獵兵第三大隊、輕騎兵第三聯隊、野戰砲兵第三聯隊第一、第二大隊(聯隊本部ト共ニ)及ヒ工兵第三大隊第一中隊ヲ以テ編成ス、

第二、演習ハ伯林府ノ南方ニ於テ月火木金曜日即チ八月三十一日、九月一日、三日、四日ノ四日間之ヲ施行ス但シ水曜即チ九月二日ハ休憩日トス

第三、師團機動演習ハ旅團機動演習ヨリ引續キ休憩日ナク土曜日即チ九月五日ヨリ開始ス

第四、獵兵第三大隊ト合シタル步兵第十一旅團ノ旅團演習ハ「ミツテンワルデ」附近ニ於テ施行シ金曜日即チ八月二十八日ニ終リ翌二十九日ヲ行軍日ニ充ツ

第五、輕騎兵第三聯隊ト合シタル騎兵第六旅團ノ旅團演習ハ「テンベルホーフ」ノ原野ニ於テ施行シ金曜日即チ八月二十八日ニ終リ翌二十九日ヲ行軍日ニ充ツ

第六、砲兵及ヒ工兵ハ直チニ其衛戍ヨリ到着ス、之ニ依リ更ニ師團ハ左ノ如ク規定セリ

第一、又大佐ハ旅團機動演習ヲ統監ス

第二、機動演習地ハ參謀圖「ケツペニツク」部ニ記載シ

タル地ヲ應用スト雖モ北方ハ「ランクウイツ」マ
リエンドルフ「ブリツツ」ケツペニツクノ線ヲ界
トシ東北ハ「ケツベニツク」ヨリ「スプレー」河ニ沿
ヒ其上流ニ在ル「アルトハルトマンズドルフ」マ
テヲ限ルモノトス

第三、歩兵及ヒ騎兵ノ出張人員ニ相當スル一回分ノ
露營需要品ヲ携帯ス可シ

第四、旅團ハ九月五日ニ施行スル師團演習ニ參與ス
ル爲メ全日ノ朝「ケ」ニクス、ウステルハウゼン」
附近ニ集合シ得ル如ク金曜日即チ九月四日ニ

於テ全所及北方ヨリ南方ニ連亘スル湖水群ノ

西方ニ宿泊スヘシ

吾人ハ次ニ規定セラレタル演習ノ日割及ヒ師團ヨリ出
セル規定ニ關シ聊カ注意スル所アラントス

八月二十九日ヲ以テ歩兵第十旅團及輕騎兵第三聯隊ノ
行軍日ト定メタルハ最モ適當ナル處置ト謂ハサル可ラ
ス若シ此日ニ至リ歩兵及騎兵兩旅團ノ演習初メヲ結了
スルモノトスルハ此日ハ纔ニ宿營轉移ヲ行ヒ得ルニ
過キスシテ諸事箝束ヲ免カレス然ルニ上ノ如ク規定ス
ルハ八月廿九日ニ於テ各軍隊ヲ演習地内何レノ點ニ
モ之ヲ運致スルヲ得ルヲ以テ演習第一日ノ計畫上ニ於

テ多分ノ餘地ヲ存ス可キナリ殊ニ各軍隊ヲシテ金曜日
即八月二十八日ニ於テ宿營轉移ヲ爲サシムルヲ容易ナ
ルニ於テヲヤ之ニ反シ土曜日ヲ以テ尙兩旅團ノ演習日
ト爲スルハ此日ハ纔ニ宿營轉移ヲ爲スニ過キサレ可ク
即チ一哩乃至二哩ノ行軍ヲ爲シ得ルノミナルカ故ニ機
動演習第一日ハ旅團ヲ「テンペルホーフエル」ノ原野トミ
ツテソウルデ「ノ中央ニ招致セサル可ラス然ルキハ兼テ
規定スル所ノ演習地全体ヲ利用シテ演習ヲ開始スル
ヲク唯其一局部ニ制限セラルニ至ル可シ
其他尙ホ理由アリ茲ニ歩兵第十一旅團及騎兵第六旅團
ノ演習ヲ施行セシ地ハ機動演習地ヲ距ル遠ク數哩ニ在

リトス可シ此時師團ハ兩歩兵聯隊及輕騎兵第五中隊ノ
爲メ全一ノ行軍日數ヲ附與セハ即チ機動演習第一日ニ
於ケル計畫ヲ制限スルニ至ル例令ハ歩兵第十一旅團ハ
機動演習地ノ中點ヲ距ル四日行程西方ノ地ニ於テ演習
シ其一聯隊ヲシテ四日間ノ行軍ヲ以テ八月二十九日ニ
「フリッデルスドルフ」ニ招致セントスルキハ非常ニ困難
ナル強行軍ヲ行ハサル可ラス若シ此強行軍ヲ避ケンカ
爲メ兩旅團演習ヲ一日繰リ上ケ以テ歩兵一聯隊ヲシテ
行軍ノ猶豫ヲ得セシメントヨリ師團ニ向ヒ請求スルヲア
ランカ如此請求ハ師團ノ容ル、所トナルヤ否豫メ測ル
可ラサルモノアリ予ハ茲ニ一例ヲ引キ以テ之ヲ証明セ

ソトス旅團長アリ既ニ機動演習ニ關スル計畫ヲ定メタル後步兵二聯隊ノ中其一聯隊ハ師團ヨリ規定セラレタルヨリモ一日間多ク行軍セサル可ラサルヲ發見シ一日間旅團演習ヲ繰上ケンコトヲ請求セリ然ルニ師團ハ機動演習ノ日割ハ既ニ軍團司令部ニ報告シ其認可ヲ得タルモノナレハ今之ヲ變更スルカ如キハ其理由ナシトシテ却下シタリ蓋シ行軍日ノ如キハ機動演習ヲ計畫スルニ當リ必ラスヤ之ヲ顧慮シテ以テ宜ヲ得セシメサル可ラスト云フニ在リ

於爰旅團長ハ從來計畫シタル機動演習ノ組織ヲ變更セサル可ラサルニ至レリ因是觀之旅團機動演習ヲ始ムル

ニハ常ニ師團ヨリ步兵及騎兵ノ爲メ指示シタル行軍日ヲ顧慮シ失体无ランコトヲ努メサル可ラサルナリ夫ノ砲兵及工兵ノ如キハ衛戍地ヨリ直ニ機動演習地ニ出發スルコト多キヲ以テ其出發日ヲ早ムルカ如キハ決シテ困難ナル事ニアラス下雖モ步兵及騎兵ノ旅團演習ヲ早ムルカ如キハ容易ナル事ニアラス殊ニ軍團司令官ハ此時機ヲ以テ檢閲ヲ行フカ故ニ全軍團ノ計畫ニ齟齬ヲ生スルコトヲルヲ以テナリ

旅團長ハ既ニ機動演習ノ始ニ於テ猶豫ヲ得タリ然ラハ則チ此軍隊ヲシテ復ケーニグスウステルハウゼン附近ニ於テ機動演習ヲ終ラシメ茲ニ宿營セシメサル可ラス

十
師團ハ既ニ九月五日ニ於ケル集合所ヲ指示セリ旅團ハ
即チ之ニ應シテ其軍隊ヲ宿營セシム可シ若シ此指示ナ
キハ步兵ヲシテ集合所ニ到ルニ迂路ヲ取ラシムルカ
如キ不都合ヲ生スルアリ
時トシテ師團機動演習開始ニ於ケル宿營ヲ師團自ラ規
定スルアリ若シ如此スルハ宜シク前日即チ本例ニ
ヨルハ九月三日ノ舍營表ニ則トリ之ヲ規定シ若クハ
旅團機動演習ノ最後ニ宿營スヘキ地ヲ速ニ旅團ニ示シ
以テ旅團ヲシテ其前日ノ宿營ヲ規定スルニ支障ナカラ
シム可シ然ラサレハ旅團ヲシテ演習最後ノ日ニ或ハ五
獨里強行軍ヲ行ハサルヘカラサルカ如キ危険ニ陥ラシ

ムヘシ是レ演習後一日ノ休憩ヲ軍隊ニ與ヘサル時ハ軍
隊ノ不利益大ナリト云フ所以ナリ要スルニ演習統監ノ
爲ニ計ルニ九月四日ニ於ケル機動演習ハ勉メテ早ク之
ヲ始メ以テ速ニ之ヲ結了シ枝隊司令官ヲシテ九月五日
ニ於ケル枝隊命令ヲ發布スル爲メ要スル時間ヲ與ヘサ
ルヘカラス試ニ統監ヲシテ九月九日ニ於ケル枝隊司令
官ノ位置ニ在ラシメハ必ス九月四日ニ於テ施行スル機
動演習ヲ遅延セシメサルヤ明カナリ吾人ハ或ル聯隊長
カ翌日(仮リニ四月五日)ト定ム演習ヲ指揮スル筈ニテ其
日(四月四日)午后四時其舍營ニ達シ茲ニ翌日ニ關スル任
務ヲ受ケ晚第六時迄ニ尙ホ二獨里ヲ隔ツル師團ニ枝隊

命令ヲ送附シタルカ如キ場合ヲ目撃シタルコトアリ
 又大佐ノ緊要ナル第一任務ハ參謀圖「ケツベニツク」部ニ
 就キ精密ニ之ヲ調査スルニ在リ若シ此圖昔時ノ出版ニ
 係リ明瞭ナラサル時ハ之ニ彩色ヲ施シ以テ通行シ難キ
 部分即チ河川、湖水、沼池、濕地等ヲ明示スルヲ良トス然レ
 モ今茲ニ使用スル地圖ハ明瞭ナルヲ以テ如斯必要ナシ
 「ケツベニツク」圖ヲ一覽スル片ハ機動演習ノ爲メ應用ス
 べき地ハ其性質ヲ異ニスル一個ノ地區ニ分割セラル、
 「コトヲ知ル可キナリ即チ「ケツベニツク」ヨリ「ケイニクス、ウ
 ステルハウゼン」ニ亘ル線ノ西方ニ在ル地區ハ多分ハ敞
 開シテ適當ニ併置セル大村落ヲ有シ且ツ頂背平坦ナル

高地群ニ富ミ而シテ其一部分ハ顯著ナル陣地ヲ成形ス而
 シ此線ノ東方ニ在ル地區ハ多分ハ湖水及ヒ森林ヨリ成
 立シ前者ニ比スレハ村落尠ナシ故ニ後者ノ地區ハ軍隊
 ノ運動及舍營ニ困難ナルヲ以テ機動演習ノ爲メ不適當ト
 ス若シ強テ此ノ地區ニ於テ機動演習ヲ施行セントスル
 時ハ各機動演習ハ森林戰鬪ノ性質ニ變シ騎兵及ヒ砲兵
 ハ其運動ヲ行フニ甚タ難カル可シ蓋シ地形ノ爲メ砲兵騎
 兵ノ兩兵種ヲシテ共同動作ヲ行ハシムルコト能ハサル片
 ハ獨リ歩兵ヨリミ交戦スト雖モ機動演習ノ爲メハ如此キ
 地形ヲ撰フヲ以テ過失トナス何トナレハ騎兵及ヒ砲兵
 ヲシテ戰鬪ヲ習學セシムルコト能ハサレハナリ余ハ曾テ

如此キ旅團機動演習ヲ實見シタルコアリキ此時騎兵ハ
 街道上ニ於ケル斥候勤務ノミヲ爲シ砲兵ハ常ニ八百乃
 至千米突ノ距離ニ於テ砲列ヲ布キタリ是カ爲メ該演習
 ニ參與セシ長官ハ再ヒ此統監ヲシテ機動演習ヲ指揮セ
 シムルノ無益ナルヲ感セリ然レモ灌木繁茂シタル地方
 ニ於テ三兵種ヲシテ充分其威力ヲ顯サシムルコト困難ナ
 リト雖モ精密ニ之ヲ偵察スルモ亦タ騎兵及ヒ砲兵ノ
 爲メ平面地ナシトモス
 又大佐此地圖ヲ一覽セハ以テ旅團機動演習ハ應用スヘ
 キ地内ノ西方部分ニ於テ施行シ其東方部分ニ於テハ只
 「フリデルスドルフ」ヨリ「ケーニクス」ウステルハウゼンニ

通スル街道ヲ以テ舍營及行軍ノ爲使用スヘキコトヲ決ス
 ルナラン

旅團機動演習中ニハ少ナクモ一回遭遇戦ヲ行ナハシム
 ルヲ要ス即チ兩枝隊ヲシテ全時ニ行軍縱隊ヨリ展開セ
 シム可シ並ニ各枝隊ヲシテ一回ハ防者トナリテ防禦陣
 地ヲ取り一回ハ攻者トナリテ之ヲ攻撃セシムル如ク計
 畫スルヲ良トス必ラスヤ甲枝隊ヲシテ常ニ前進運動ヲ
 爲シ乙枝隊ヲシテ毎ニ退却運動ノミヲ行ナハシムルヲ
 避クヘシ遭遇戦ヲ行フニハ多クハ機動演習ノ第一日ヲ
 以テ適當ナリトス此日遭遇戦ヲ行フハ實ニ戦況ニ適ス
 ル入ミナラス復最モ之ヲ行フコト容易ナリトス何トナレ

ハ後日之ヲ爲サントスルニハ軍隊ヲ疲勞セシムルヲナク再ヒ遠ク枝隊ヲ相離隔スル難ク更ニ之ヲ戰鬪セシムルハ再ヒ無益ナル行軍ヲ爲サシメサル可ラサレハナリ又機動演習ハ常ニ全一ノ街道ニ接シテ施行セシムルヲ良トス之レ軍隊ヲシテ既ニ知悉セル地形ニ於テ演習セシメス且ツ全村落ノ人民等ニ舍營ノ勞ヲ煩ハサシムルコト死カラシメンカ爲メナリ是カ爲他ノ街道ヲ取ラシメテトスルニ軍隊若シ自國ニ於テ動作スルモハ戰況ニヨリ從來ノ退却線ノ側後方ヨリ援隊到着スルモノトシ此方向ニ運動セシメテハ容易ニ之レヲ得ヘシ然レモ此ノ處置ハ敵國ニ於テ作戰スル枝隊ノ爲ニハ適當ナリトス

ル場合甚稀ナリ何トナレハ敵國ニ於テ枝隊ハ容易ニ其後方連絡ヲ變シ能ハサレハナリ又大佐ハ宜シク此ノ點ニ注意シ種々ニ旅團機動演習ヲ計畫ニ兩枝隊ニハ東西南北ノ名稱ヲ附セサルヘカラス、茲ニ又大佐ハ八月二十九日ニ於テ甲枝隊ヲ「ダールウエ」及ヒ其西方ニ、乙枝隊ヲ「ケールニグス、ウステルハウゼン」及ヒ其東方ニ宿營セシメ機動演習ハ「デーレウエツ」及ヒ「ケールニグス、ウステルハウゼン」ノ中間ニ於テ開始シ而シテ後之ヲシテ「クロース、チーテン」ノ方向ニ移ラシメ再ヒ全所ヨリ「キークブツシユ」ヲ經テ「ケールニグス、ウステルハウゼン」ニ近接セシメント「ヲ決定シタルモノト仮定ス、於テ爰

又大佐ハ機動演習ヲ施行スル地形中不明ナリト考ル所
 以躬自カラ偵察セサルヘカラス、蓋シ戰鬪ハ如何ナル土
 地ニ雖モ之ヲ爲サ、ル可ラサルモノナリト雖モ機動演
 習ニ在テハ之ニ各兵種ヲシテ成ル可ク其動作ヲ充分ニ
 爲シ得ル所ノ時機ヲ與フルヲ緊要ナリ故ニ最初ヨリ之
 以適スル地形ヲ撰ハサルヘカラス而ルニ獨リ地圖ニ依
 シテ之ヲ判定シ得ヘカラサルモハ機動演習ヲ統監スル
 者ノハ尙細密ニ之ヲ窺見セサル可ラサルモノトス吾人
 以茲ニ機動演習ニ當リ宜シク注意スヘキ箇條ヲ示サ、
 機動演習ノ爲メ第一ニ顧慮スヘキハ道路ナリ道路ハ其
 良否及ヒ幅員ニ至テハ機動演習ノ爲メ影響ヲ及ホス

甚タ勘シト雖モ地圖ニヨリテ觀察シ難キ或ハ記載セラ
 ズサル所ノ道路ノ側方ニ於ケル地形ノ往質ニ至テハ決
 シテ輕忽ニ附ス可ラサルモノアリ多クハ豫メ察セス軍
 隊ヲ道路ノ側方ニ展開セシメ得ヘシト信シ道路ニ並列
 スル樹木ノ如キモ之ヲ顧ルモノナシ然ルニ道路ノ側方
 ニ深濠アリ砲兵ハ架橋スルニアラサレハ之ヲ渡過スル
 事難シトモハ如何枝隊ノ展開ニ困難ヲ生シ之ガ爲全機
 動演習ノ計畫ニ感及スル事大ナルヘシ是レ畢竟不注意
 ヲ致ス所トナル可シ又地圖ニ依リテ見ルモハ開放シタ
 ル地ノ如シト雖モ其實道路ノ側方ニ高樹アリテ枝葉翳
 蔽トシテ悉ク垂レ爲ニ掩蔽地ノ性質ヲ形成スル事アリ

如此並木道高地ノ麓ニ達スル時ハ歩兵ハ敵眼ニ觸レヌ
 シテ茲ニ接近シ得ルコアリ故ニ此高地豫メ防禦陣地ト
 シテ準備スル時ハ其價值尠シ砲兵ノ効力ハ此樹木ノ爲
 ニ全ク妨ケラルヘシ繁茂シタル並木道ハ畜ニ砲兵効力
 ノ妨害トナルノミナラス歩兵ノ効力モ亦之カ爲屢々害
 セラル、コアリ此ノ場合ニ於テ或ハ樹木ノ空隙ヲ狙フ
 テ射撃ヲ爲シ得ヘシト雖モ彈道非常ニ彎曲スル爲命中
 不精ナリ抑我カ獨乙國某地方ニ於テハ其道路ノ側方ハ
 生籬ヲ以テ包マレ其外方ニ在ル地形ヲ全ク通視スルコ
 能ハサルモノアリテ殆ント凹道ニ在ツテ側方ヲ通視シ
 能ハサルノ感アリ此并道路ノ側方ニ於テ軍隊ヲ展開ス

ル時ハ枝隊ハ相分離シ適時ニ援助スルコ能ハサルノミ
 オラス指揮官ハ道路ノ彼方ニ於テ戦闘スル軍隊ヲ通視
 シ得ルコ能ハサルコアリ即チ地形ヲ偵察スル時ハ如此
 キ道路ヲ顧慮スルコ緊要ナリトス、
 參謀圖ノ舊版ニ係ル分ハ地形ヲ記載スルコ詳細ナラス
 往々粗略ニ流ル、コアリ實際之ヲ偵察スル時ハ地圖上
 ニ記載セサル所ノ有利ナル岡阜及ヒ陣地ヲ發見スルコ
 屢アリ又既ニ伐木シテ其迹ヲ存セサル所ノ森林ヲ記載
 シ若クハ新ニ布設シタル鐵道ノ如キハ之ヲ記載セス然
 レモ鐵道ハ機動演習ニ在テハ之ヲ超過スル能ハサル所
 ノ障碍物ナク鐵道ハ踏切ニアラサレハ之ヲ通過スルコ

ヲ許サ、ルモノナリ

又村落ノ形狀ハ地圖ニ依ツテ常ニ之ヲ判定シ得ヘキモノニ非ス、某地方ニ於テハ山毛櫸林内ニ於テ散乱シタル農圃ヨリ成立スル村落アリ如此キ村落ノ戰鬪ハ即チ森林戰鬪ニ属スヘシ

吾人ハ特ニ河川ニ關シ述ヘサルヘカラス蓋シ河川ハ實戰ノ時ニ當リ之ヲ障碍物ト見做サ、ル如キ者ト雖モ機動演習ニ在テハ之ヲ障碍物ト爲スヘキモノアリ何トナレハ戰時ニ於テハ敢テ憚ル所ナク步兵ヲシテ三尺深キ河水ト雖モ之ヲ跋涉セシメ得ヘシト雖モ機動演習ニ於テハ如此キ處置ヲ以テ寧ロ過失ナリトスレハナリ是ニ

因テ之ヲ觀レハ實戰ノ障碍物ト機動演習ノ障碍物ハ之ヲ區別セサルヘカテサルト明カナリ小河ノ如キ其性質屢々變換スルモノアリ彼レ乾燥ナル季候ニ在テハ毫モ障碍物トナラサルモ梅雨連リニ降ルノ季候ニ於テ其水漲ル時ハ軍隊ノ展開ヲ妨害スル所ノ障碍物トナル回顧スレハ余カ曾テ倍觀シタル「ライン」地方「ヂュール」附近ニ於テ施行シタル師團機動演習ノ計畫タルヤ「ロエール」河渡過點ヲ占領セシムルニアリキ是レ「ロエール」河ハ春季ニ偵察シテ渡過スルヲ能ハサルトナリ居タレハナリ然ルニ此演習ヲ施行セシ際ハ晴天引續キ頗ル乾燥セシヲ以テ所々通過スルヲ得タリ即チ步兵一旅團騎兵一

聯隊及ヒ砲兵四中隊ハ更ニ障碍ニ遭フナク容易ニ之ヲ渡過シタルヲアリキ、
 次ニ耕作地ノ如何ヲ顧慮セサルヘカラス、野外要務令第
 二百一頁ニハ決シテ入ルヘカラサル耕作地ヲ示セリ如
 此耕作地ハ村民之ニ植物ヲ植ユルヲ以テ多クハ隘路ニ
 變ス故ニ偵察ハ村民穀類ヲ刈リタル后ニ於テスルカ若
 クハ豫メ耕作地所有者ト談シ戰鬪ノ爲使用スヘキ地ヲ
 撰定スルヲ良トス、

又大佐躬自カラ機動演習地ヲ偵察シ「ゲトニクス、ウス
 テルハウゼン」ヨリ「クライオン、キトニツツ」ヲ經テ「グロース
 チトテツ」ノ方ニ騎行シ全所ヨリ「キトケブツシム」ヲ經テ
 「ゲトニクス、ウステルハウゼン」ノ方ニ飯還シタルモノト
 假定ス其偵察ノ結果左ノ如シ
 「ゲトニクス、ウステルハウゼン」ノ西側ハ散乱シタル家屋
 ヲリ成立シ且ツ據ルヘキ地物ナキヲ以テ防禦ニハ寧ロ
 不適當ナリ何トナレハ西方ヨリ茲ニ達スル街道ニハ「ミ
 エレン」山ヨリ有効ナル側射ヲ行フヲ得「ミエレン」山ハ
 街道ヨリ約百尺高ク「獨乙、ウステルハウゼン」ト相對スト
 雖此割合ニ西方ヲ通視スルヲ困難ナレハナリ全山ヲ
 去ル約千米突ノ距離ニ於テ黒柳ノ高樹並列スル街道
 北方ヨリ南方ニ通シ且ツ「ヒリツアスル」ノ西方ニ在ル
 森林ハ「獨乙、ウステルハウゼン」ニ到ル迄ノ地ヲ掩蔽ス故

ニ「ケーニクス」ウステルハウゼン^ノ西端ニ於テ防禦セ
トスル時ハ千米突ノ距離内ニ於テ之ヲ行ヒ得ルノミ蓋
シ此地區内ニ在ル土地ハ凡テ通行ニ便ニシテ馬鈴薯及
ヒ萱ヲ植付ケタリ而シテ街道ハ「ラゴウ」ニ到ル迄ノ間平坦
ナル小濠及ヒ射撃ノ効力ヲ妨害セサル所ノ小樹林ヲ以
テ縁トナス「ヒリツプスル」^ノ西方ニ在ル森林ハ粗生ス
ル小松ヲ以テ成立シ步兵及ヒ各單獨騎兵ハ容易ニ之ヲ
通行シ得又其西縁ハ四尺^{フィス}ノ生籬ヲ以テ之ヲ周ラシ步兵
ノ爲ニハ甚タ有利ナル防禦線トナルヘシ同所ヨリ「獨乙
ウステルハウゼン」ニ到ル間ハ即チ次ノ如シ
街道ノ南方ニ在ル地ハ打禾場ノ如ク平坦ニシテ馬鈴薯

耕作地及ヒ牧場アリ其北方率チ五百米突ノ距離ニ於テ
波狀地ヲ通スル道路アリ而シテ此波狀地ノ最高點ハ「ワイ
ン」ナリ(街道ヨリ約五十米突高シ)其山腹ハ概チ馬鈴薯耕
作地ヨリ成立ス「獨乙」ウステルハウゼン^ノ村ハ波狀地ノ凹
間ニ挾マルヲ以テ防禦ニ適セスト雖モ村内ニ在ル牧場
ハ大軍隊ヲ掩蔽スルニ足ルヘシ、

「獨乙」ウステルハウゼン^ノ及ヒ「ラゴウ」ノ中間ニ在ル地形ハ
上ニ述ヘタルモノト殆ント異ナルト無シ只街道ハ漸次
ニ登リテ「デーリ」ングス^ノ山上ニ通ス此山ハ四面共ニ漸次
ニ斜下シ其近傍ノ地區ヲ瞰制シ其北方ニハ森林アルヲ
以テ東方及ヒ西方ニ對シ防禦スルニ適當ナリ此ノ地内